大正十三年十二月二十二日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行） [illegible]

婦人運動

十月号

職業婦人社發行


品質日本一
ヤマサ醤油
醤油は
ヤマサ時代!!
秋が來ました
味覺の秋が
宮内省御用達
ヤマサ醤油株式會社

エス・セムコフスキー編 マルクス書房譯 全四册各册壹圓 送各六錢

マルクス學教科書

第一卷 社會進化の鐵則

第二卷 史的唯物論

第三卷 史的唯物論の例證 自由と必然

第四卷 辯證法、辨證的唯物論 世界觀としてのマルキシズム

近刊

イ・アゴル編 茂野清治譯

マルクス主義のABC

定價50錢
送料 4錢

第一編哲學 第二編經濟學 第三編社會主義、空想的社會主義から科學的社會主義への三編に分つてマルクス主義の基礎を說いたもの、入門書として絶好

青木恵一著

マルクス主義農民問題講話

定價1圓
送料 8錢

青木氏が日本の左翼農民運動に於いて重要な地位を占める人である事は既に諸君の知る所である。氏が心血をそゝいだ本書によつて學べ!!

短歌前衛社編（一九三〇年版）

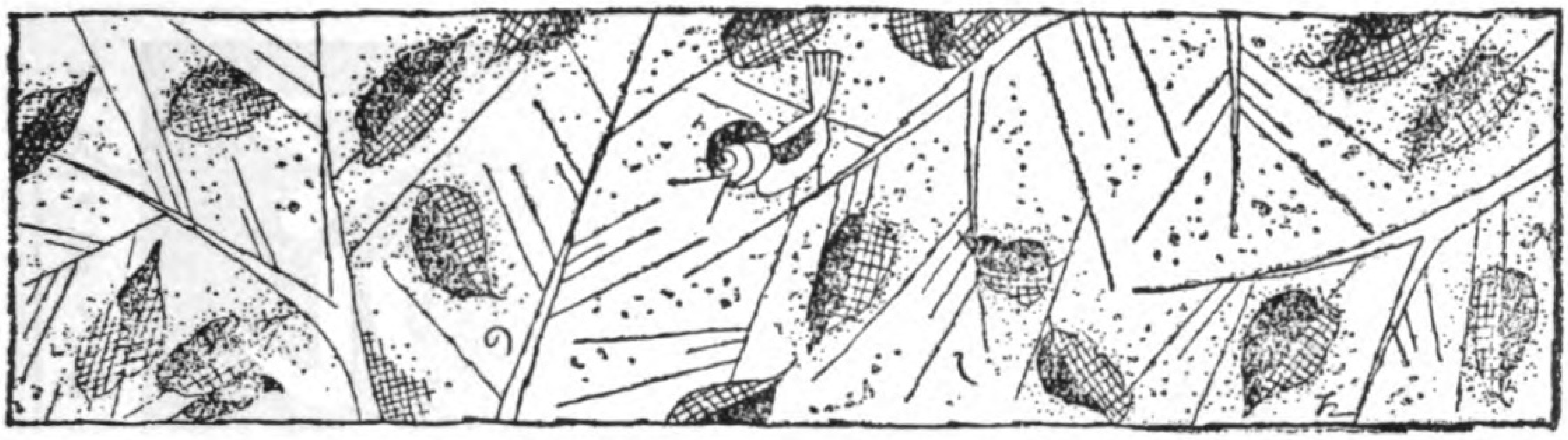
プロレタリア短歌集

定價40錢
送料 4錢

書房が受けた大打撃のため發行遲延して諸君にすまぬ、今度こそ出る。九月には諸君の手にとどくであらう。

東京市小石川區小日向台町一ノ五一
振替東京三三九八 電話小石川一六一五

マルクス書房



婦人運動（十月號目次）

不景氣、失業と戰へ（卷頭言）……（五）

何故こんな不景氣になつたか……高橋龜吉……（二五）

婦人セツルメント運動の發足……奥むめお……（三三）

◇セツルメント日記……（六〇）

家庭と職業と
どう調和させるか

家庭と職業と……今井邦子……（一二）

調和……長谷川時雨……（一三）

家事と職業と……高良富子……（一四）

都會と婦人……住井すゑ子……（一五）

家庭と仕事……平林たい子……（一七）

協力の上に互ひに生きる……奥むめお……（一七）

消費組合講座……編輯部編……（四六）

婦人運動ニュース……（四八）



詩と歌

傷ましき農民の友を……若山喜志子……（一九）

毆り飛ばした後……織田顕……（二〇）

臺所所見……（二一）

貞操暗黑時代の斷片的考……奧榮一……（六）

優生學としての產兒制限……星野鐵男……（四二）

◇不景氣時代……しでお……（三四）

◇減食・絶食・飢餓線……（三四）

娠姙調節座談會……（三六）

◇婦人公民權案成る……（一〇）

◇フース・ヒー……（一八）

◇新刊紹介……（五四）

ミス・チャイナ……引田哲一郎……（五〇）

狂つてこそ……榎本八十子……（五六）

卷末に……（六二）

卷頭言

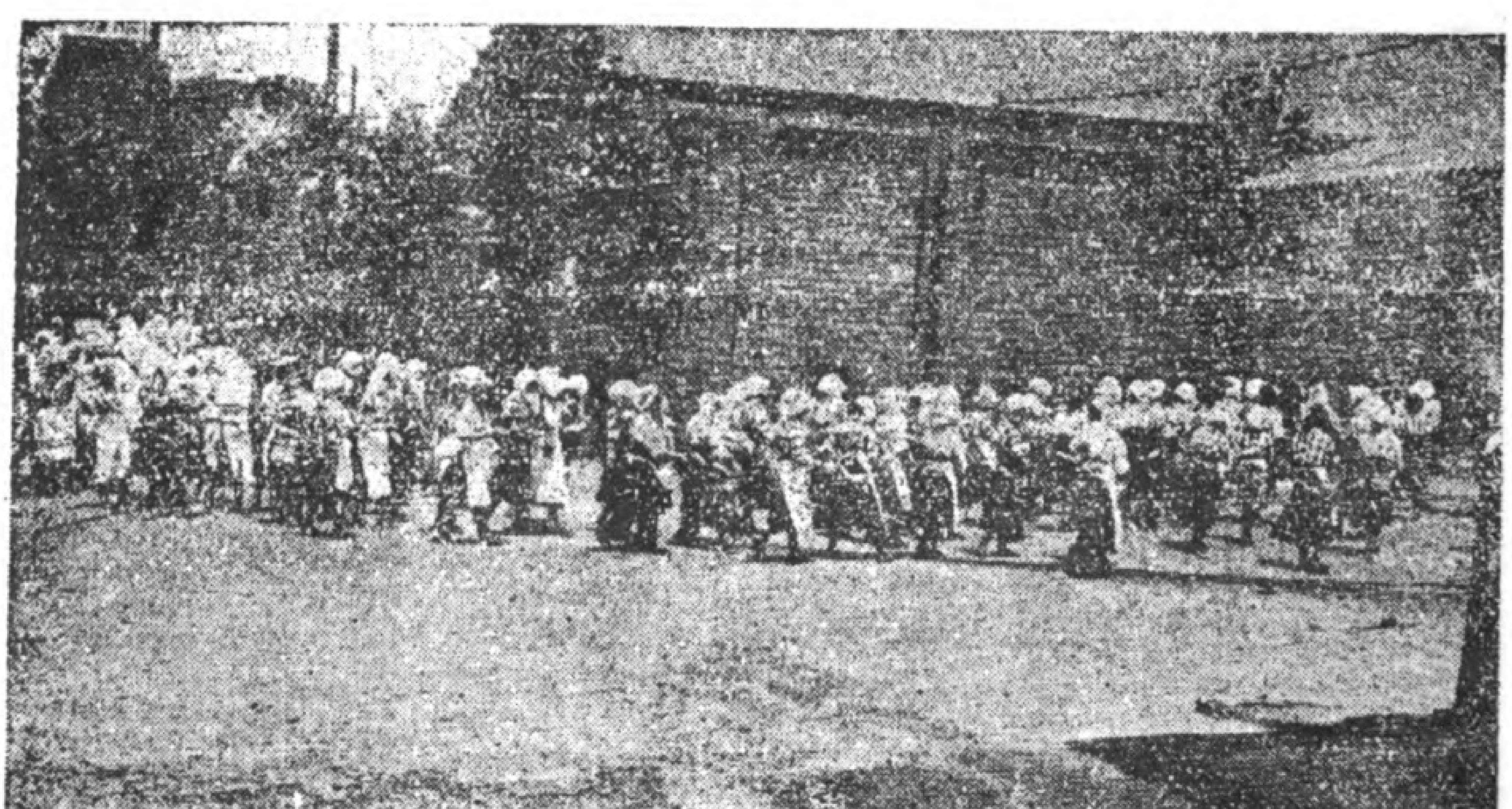
不景氣・失業と戰へ

恐ろしい不景氣時代が來た。失業者は全國に充溢れ、農村は極度に窮乏し、其日の糧に困しむものは夥しい數に達してゐる。しかも不景氣は尙深刻に暴威を振はんとし、民衆生活の前途は、まことに、暗澹たるものがある。

都會に職を失つた人々が日毎農村に歸つて行く、しかも農村は、それらの人々を容れる寸尺の土地を剩してゐる譯でなく、また之を養ふべき少しの餘力も持つてゐない。それのみならず、農民自體が逃亡か飢餓かの岐路に立つてゐるのである。しかも國家は之を如何ともする力がない政治家は之を以て世界的な現象だから仕方がないと言ひ、財閥資本家は其の笛の音に合せて、益々暴威を振ふのみである。

今まで婦人の多くは、簡單に不景氣、失業は仕方のない現象だ、我々が如何にさわげばとて社會經濟の大勢が改まるものでないとあきらめて來た。しかしながら現在其の家族が路頭に餓ゑ、また寒さに戰いてゐるとき尙仕方がないとして諦めるべきであらうか？ また不景氣は我々の力でどうにもならぬものであらうか？

否、否、斷じてさうでない。不景氣も失業も我々の力でどうにでもなる。總ての無產婦人の力が、一つに結びついて戰ふならば、此の深刻なる不景氣を撥ね返すことも、決して困難なことでない。母よ、娘よ、姉妹よ、肉親と同胞と眞理のために前線に立つて戰はうではないか。道は何處にでもある。消費組合と、勞働組合と、農民組合とは、總ての無產婦人に新らしき勝利の道を提示するだらう。



——【東京モス争議女工の示威】——

貞操暗黒時代の斷片的考察

奥　榮一

今や吾人は餘りに饜足の生活をしてゐる。故に良心もこれに追付く事を得ず——シャンフォール——

貞操暗黒時代と云ふ言葉には、多分にジャナリズムのドス黒いィキンキの臭がする。が、同時にジャナリズムのメガホンをして、さうした言葉を無遠慮に躍らしむるだけの時代相がある事も拒み得ない事實である。

リンゼイの「友愛結婚」カルバートンの「結婚の破壞」ラツセルの、いや、それ等の書物に就いて聞く迄もなく、戀愛生活、性生活に於ける奔放性は、不景氣と同じやうに、現在では一つの世界的事實である。私達は遠い外國の例を聞く迄もなく、私達の日常生活の途上で、この世界的エロティシズムの飛沫を嫌が應でも浴びせられる。さうして單なる詩人的詠嘆や、道學者的說法で、この現實の實在をどうする事も出來ない事を痛感せしめられる。

此世に存在する事は一見どんなに不必要に思はれる事でも仔細に觀察すると其處には必然の因果關係が橫たわつてゐる現在の世の中で自働車や、ラジオや、トーキーの流行が必然であるやうに、カフエーや、ダンスホールや、レビユーの出現も同じく必然である。私達は現代のエロチシズムを痛嘆する前に、その依つて來る處を先づ明確に見定める必要がありはしないか。

×

貞操は有史以來婦人の上にのみ架せられた性的道德であつた。云ひ換へれば、男性は有史以來貞操暗黑時代にあつたと云ひ得やう。婦人はその家督を繼ぐ處の子孫を持つ爲めに、その貞操の純潔を社會的に强要されて來た。勿論「種」の保持者としての婦人自身に性的純潔を貴ぶ本能がないわけではないが、社會的に架せられた性道德は婦人自身の自主的な選擇をさへ許されない程に受動的なものであつた。封建時代に至つて家祿の世襲制度からの必要は一層その嚴格性を加へて來た産業革命に據る處の資本主義制度の確立は、婦人を家庭から解放して、街頭へ驅り立てた。婦人の經濟的自覺は婦人の人間的自由獲得の女權運動として現はれた。

婦人の街頭への進出は、汽車、汽船の發明の利用と同じやうに資本主義組織の許に於ける避くべからざる必然であつた婦人の人間的權利の獲得は、貴族の沒落（日本で云へば武士階級）奴隸（日本で云へば百姓）の解放と同じやうに資本主義制度の許に於ける當然の到來であつた。が、街頭へ驅り出された婦人の多くはそこに生活の安定を得る事の代りに、安い賃金と、男性の貞操暗黑時代が待つてゐた。婦人の人間的自由の獲得は――日本では未だそれさへも過渡的時代にあるが――性的寄生心理を淸算する事の出來ない多くの女性にその空手形を與へた。

資本主義の經濟機構が安定してゐる中は、婦人はその安價な生活保證と、空手形の彌縫に依つて、曲りなりにも彼女達の新しいコースを辿る事が出來た。が、その安定に罅が入るに從つて、從來、家庭と云ふ障壁に蔽はれてゐた、その性的第二次特徵――卽ち男性支配の許に發達した過剩な性的第二次性――を否が應でも街頭にバクロせずにはいられなくなつた。

皮肉な言葉で云ふならば婦人は男子の永い傳統である貞操暗黑時代にまで、彼女自身を解放したと云ひ得やう。

大自然の意志は時として、餘りに寛大に過ぎるやうに見えるが、その結果は往々此世に於て最大の皮肉屋である事を示す場合が少くない。嘗て性的には玩具として、人間的には家具として、女性を作り上げた男性文明は、今や彼自身と同じ

の性的自由を持つ女性を發見して、その成功に陶醉すると共に自然の峻辣な皮肉を刻及々痛感せしめられるに至つた。

何處の歴史に見ても、凡ゆる文明はその沒落の最後の段階に立つた時には、常に極端な性的放從時代を見るものである生活の不安、焦燥、遲緩、加ふるに道徳も、習慣も、法律もその統制力を失つて、本能生活の赤裸々な放肆が始まるのである。そうして、その背後にはそれ等の世紀末的文明を否定する處の、新鮮な、健全な、生活力に滿ちた別個の文化が常に發生しつゝある事を、歴史の頁が敎へてゐる。この歴史的法則は同じ意味に於て、現在に於ける貞操暗黑時代がその發生母體である資本主義文化の沒落を裏がきするものである事を、私達に告げる。

資本主義の文化、都市文明、男性支配の文化、これは一貫する機構の許に置かれた現代の文化相である。プロレタリアの搾取によつて建てられた資本主義文化が、ブルジョアジーそれ自體の中にその崩壞の要素を胚胎し、農村の搾取によつて興つた都市文明が都市そのものゝ中にその分解作用を暗示し、女性の征服によつて形づけられた男性文明が、それ自體の中にその破綻を釀してゐると云ふ事は、自然の不可思議な因果關係を繪解のやうに如實に、我々の眼の前に展開して吳れるではないか。

こゝで、問題を性問題にのみ極限して云へば、今や我々は進んで性的廢墟の上にその殘骸を抱いて最後の亂舞を躍るか、退いて、正しい認識の許に、これ等の時代相を把握して、別個の新しいスタートを切るか。婦人はこの貞操暗黑時代をダークチエンチとして、一大岐路に立つてゐると云はなければならぬ。

結婚、戀愛、離婚、賣淫、現在に於ける性生活は少くとも何等かの意味に於て、資本主義經濟機構の重壓の許に置かれてゐる。例へば經濟的な點で家庭を持つ事の出來ない多くの靑年男女、そうした事の爲めの戀愛破綻、離婚、生きんが爲めの餘儀なくされた賣淫、時代はさうした現象の簇出に對しても、そのスピードを早めつゝある。我々が若し社會的に性生活の淨化、その安定を求めるならば、この經濟機構の根底

に觸れる事なくしては、到底望み難い事である。

ブルジョアジーの支配は、有閑階級に對しては性的遊戯心を、プロレタリアに對しては性的ルンペン性を植附けた。一つは閑と金にまかせて轉々として、次から〳〵へと性生活をスポーツ化して移つて行く生活、一つは重壓された性生活の統制なき浮浪性である。これは現代人の腦裏に互ひに交錯してゐる性的心理であるが。自然はこの「種」の根元に關する營みの冒瀆に對して、深刻なしつぺ返へしをせずには置かないであらう。

云ふ迄もなく現在に於ては男女の生活形態は複雜多岐である。貞操暗黑時代と云つても要するに、その先端的な一面であつて、少くとも日本では一般の婦人は未だ半封建的家族制度の中で多分に呼吸してゐる。彼女達は生活の保證と性生活の妥協の中で、人間であるよりもより多く家具として生きてゐる。が時代相は次第に彼女達の安住所へ襲つて來た、經濟的に、心理的に、さうして、何等かの意味で所謂暗黑時代の黑幕がその背後にせまつてゐないとは云へない。近頃の急劇な離婚の增加も、その一證左と云へるであらう。封建的な法利よりの解放は確かに婦人を自由にした、離婚の場合に於ても。が、より根本的に考へる時結婚、離婚と云ふが如きデリケートな、重要事を、單なる法令の裏書によつてその効力の發生と、廢棄を決定する重大な要素とする事は、人生への大きな侮辱ではないだらうか。實際問題としても、男女が互に一つの家庭を營み子供達の父となり、母となつて行くには、相互の永い信頼と、信頼に基く、相互の努力なくしてあり得ない事である。朝に結び、夕べ解くと云つた風の周章しさの中で一夜妻の惡戯以上の何物でもない。

ロシアに於ける男女關係の新樣式が、憧憬の對照としてよく紹介される。兩性に關する、母子に關する自由な大膽なその新樣式は確に私達の進むべき途に大きな物を暗示してゐるが、私達は同時に、舊い形態が崩れて、新しい社會的制約が普通化される迄の、過渡的現象であるロシアに於ける男女のの放恣な形態までも讃美する必要はない。レエニンでさへもこの事實に對して、それ等のものは多分にブルジョア的生活

遺風であり「我々の本能は街道の泥水を呑むよりも、清潔な器で綺麗な水を呑む事を欲する」と答へてゐる。この簡單な言葉が示すやうに、我々の自然のまゝの性的本能は、純潔を好む、さうして、我々に未來を約束する健全なプロレタリアートの性道徳は、女性に對して純潔を要めるやうに自巳に對しても同じやうに純潔を約束する。相互に自律的に把握する貞操、これ以外にプロレタリアの性道徳はあり得ない。結婚に於ても、離婚に於ても、何よりも眞先にこの自律的な制約が、それに伴ふ處の責任感が先行されなければならぬ。

革命的な仕事に携ると云ふ事で、私生活に於て、「どうせ命がけの仕事をするのだから……」と云ふやうな口實の許に往々自他の性的放肆を無反省に承認する人々があるが、これは或意味に於てブルジョアジーへの立派な裏切りである。

性生活の問題は、單に個人に關する私事ではない、人類の軀幹に横はる「種」の問題である。次の時代に最も大な連鎖を持つ社會的問題である。とりわけ婦人は、母性として直接その問題に面接しなければならぬ。人類の持つ社會本能の中で婦人の持つ母性本能位根深く、純粋なものはない。自律的な貞節、母性愛に裏つけられた處の婦人文化こそ、行きづまつた現代の資本主義文化を、男性文明から救ふ處の重要な一光明であるだらう。

婦人公民權案成る

——婦選運動者に望む——

婦人公民權の政府案が發表された。其内容は先づ市町村に於ける選擧被選擧兩權を附與し、其條件は二十五歲以上の女子にして、一年以上其の選擧區内に居住したものといふ點にある。二百七十名の絶對多數は、これを容易に衆議院を通過せしめるであらうが、果して法律にまで實現するか否かは頗る疑問のことである。衆議院の通過の後には、貴族院、樞密院等の封建勢力が控へてをり、一時代前の偏見で盛んに案をつゝき廻すであらうし、何處まで政府の人氣とり政策に寬容であるか危まれる。

しかしながら兎に角も長い間の婦選運動が、漸く報ひられて遂に敵の一廓を獲得するであらうが、其の獲得を前にして、婦選運動の中には既に反動主義に降らんとする一つの傾向がはつきりと現はれて來た。殊に公民權が實際に賦與された時、婦選運動陣營が如何に崩壞されるかは豫め推定出來るところである。公民權の實現と相須つて、婦人の運動は益々實質化への轉換期に立つものである。しかも今まで婦選運動の圈内には政治的、經濟的實質化への如何なる努力も拂はれてゐなかつた。婦選を獲得した後は或るものは、反動派へ走り或は御用黨となり、或は事大主義者となるのであつては、折角、婦人の先驅をなした往時の新婦人も、跡かたなく腰折れてしまふ譯であり、誠に殘念な氣がせぬでもない。私共は日本の婦選運動者が此の過程に善處せんことを期待して已まぬものである。

□□□家庭と職業とを
どう調和させるか□□□□

職業生活、趣味生活、學究生活等々は、總て家庭をもつた婦人にとつて、極めて困難な問題とされて來ました。家庭の桎梏は、伸びやうとする凡ゆる婦人の力を常に拘束し、其のよき芽生をも、二葉にして摘みとる場合が多かつた。しかも時代の進歩は男子のみの持場とされた領域にどんどん婦人が進出し、また其の進出を要望されてをります。そこで當然職業と家庭生活を如何に調和すべきかゞ問題になつて參ります。其の解決の如何は今後の女性の運命に重大な影響を殘します。我社はこの問題を最も適當なりと思はれる左の諸氏にお願ひし、其の經驗を伺ふことにしました。

解答者

今井邦子氏

今井代議士の夫人で歌人として有名であり、數多の歌集を出されてゐる。

平林たい子氏

「文藝戰線」の小堀甚二氏の夫人でマルクス主義左翼の作家である。多數の創作を出され、運動の前線にも活躍されてゐる。

高良　富子氏

舊姓和田富子氏、昨年高良醫學博士と結婚され、續いて女子大學の敎授をされてゐる。專攻は心理學で哲學博士の學位を有たれてゐる。

長谷川時雨氏

小說家三上於兎吉氏の夫人。劇作家として有名であるばかりでなく最近雜誌『女人藝術』の經營者としてその活動ぶりはまことにめざましい。

住井すゑ子氏

農民藝術聯盟の犬田卯氏の夫人、雜誌『婦人戰線』の同人にして最近よみうり新聞に小說を發表し大變評判になつてゐる。

奥　むめお

奥榮一氏夫人、本社主幹。

家庭と職業

今井邦子

家庭と職業といふ問題は現在の日本に於ても亦私自身の家庭に於ても……なほつきつめて言へば私自身に於ても一つの重い影を投げてゐる現下の問題だと思ひます。

奥夫人のお手紙に「時代の進歩は私共に家庭婦人である事の外に何等かの仕事を持つやうに要求して居ります……」とありました。私はその文面に深くうなづいて居ります。

然しその職業といふ事も一般に言つて內職程度ですむ事なら……卽ち多少の收入を目的として生活の手助をする位の處なら私から言へば問題はありません。目下の中流の下に屬する――多くサラリーマンの家庭の主婦は、夫を送り出してしまへば大家族の家庭は別として、最近ではさう子供を十人も持つやうな家庭はだん／＼少くなつて來てゐますからそして主婦の頭腦がなか／＼よく働いて、可成文化生活樣式に家庭が整理されて來つゝありますから大方は時間的に餘裕があつて、夫の月給だけでは生活實費に餘裕がないのが通例ですからさうした家の主婦は進んで職を求めて出來るだけの經濟內助をした方が私はよいと思ひます。問題になるのはその程度を越えたもので、主婦が一定の職業婦人となつて時間其他に制限されてしまふ、主婦が本職(?)か職業が本職か分別つかない立ち場に居る婦人が、最も深刻に此問題を考へずにをられないと私は思ひます。……私自身は時間を制限された人とはちがひますが本當に自分の仕事(藝術にいそしむものとしての)を思ふ樣に進めて行くとすれば窮極は家庭の人とはなりきれません。又家庭の主婦である以上は文藝家として眞につき入つた仕事を完成させる事はまづむづかしいと、私は特に此頃しみ／＼と此點について感深いものがあります。小說家とか繪を描く女人とかはキボが大きいだけ一さう此事を痛感されるだらうと存じます。さういふ人が主婦である以上は家人は非常な犧牲をはらつて主婦を主人としてやるのでなくてはまづむつかしいと存じます。一葉女史などがよい例だと思ひます。

それで私は自分自身にはそれが出來るかどうかはわかりませんが理論としては藝術家などはほんとうの作家となるつもりなら家庭の主婦となる事は斷念した方がほんとうだらうと此頃の私はさういふ樣に思つてゐます。

× × × × ×

調和

長谷川時雨

快適なハモニー、それは誰しもが求める生活で御座いませう。お訊ねの「家庭生活と藝術家としての調和及び雑誌經營」といふことについての心用意は、一息に勞れてしまはないこと――たつた一言のそれだけで御座います。

幸に、家庭生活と藝術家としての撞着といふさはりは御座いません。なぜなら、昔は知らず、今日、藝術家だからと甘やかされ許されてよい生き方のあらう筈はないと考へますと食ふにさへ滿足でない人々の多い中で、何事をつぶやかれませう。つぶやかなければならない不平なら、自分で刈りとらなければならないと考へます。小いさな家庭の責任をさへはたせないで、一人の人間として恥かしくて何も言へないと思ふとき、ふと身邊をみかへられます。

私は自分の身にもさうであるごとく、早く働いて餘裕をつくつて休め―或は勉强しろといふのを心のモットオに致してをります。で、自然ダラ〳〵と朝から晩までなまけ〳〵のはたらきは我人ともに嫌だと思ひます。私の性質からもよろこびません。そのかはりに餘裕をもつて樂しげに休んでゐてくれるのは實に嬉しい。たゞ私は、あまり正直な性質ゆゑに、ハッキリしたことをいふために却てよろこばれないをりもあり、ゆがめてとられるのを時折感じて、これはいけないと思ひますが、惡い事でないと思ふ自信が慰めてくれます。

ある折、鍼醫が私の患部に鍼を打ちながら言ひました。

「こんなに患部に鍼が觸れるのを、いやがる人の方が多い。」と、私は考へさせられました。正しきことにても、我よしと信ずる行ひにても、それは其儘では通らないのだと――服用しなければならないよい針でした。藝術家なんて特別なものに考へてゐないにしても、癖は多いことゝ思ひます。私共では藝術家同志の家族故、其點おなじ心持ちをお互ひに察しあふので信じられてゐるそれを、裏切らないだけにやつてゆきたい――といつても、どれも〳〵不充分な、不徹底なものですが、それはつとめて充分なものにしてゆかうと心がけつゝ日々をむかへてをります。

所信と感激――ただ、いささかの不足は自分が思ふ通りに體がつゞいてくれたらよいのですが――

× × × × ×

家事と職業と

高良富子

私は娘時代にも餘り家事に囚はれたと思ひませんし、結婚後未だ一年足らずですから、何とも明言は出來ませんけれど將來ともに、家庭を持つたから仕事が出來なくならうとは考へてゐません。生活に必要な衣食住の事柄は、出來るだけ簡素に、手早く、そして便利に片づけ度いとはいつも工夫して居ます。

衣服は夏冬餘り差別のない單衣の手製の洋服、下着は夏は麻、冬はメリヤスで洗濯に便利なものを、成るべく少く持つ事にいたして居ます。住居は日本家屋でも、椅子式にして起居を便利にし、棒雜巾や油雜巾で掃除は簡單にし、出來れば一日一室づゝですむやうにしたいと願つて居ります。食物は實際三度三度こしらへたら大變な手間ですから、本式に時間をかけるのは晩だけ一回とし、朝と晝とは極簡單にします。食器類も出來るだけ數を少くして、すぐに片づけられるやうにし、食後しばらく休んだらすぐ片づけてしまつて、一日の時間の中へ食事の事がのさばり出さないやうに努めて居ります。食物の買物の事も一日一度だけ相談して考へるだけにして決定して了ひます。家事は下手と決めてかゝつて居ますからまだ〳〵改良すべき事が澤山あると思つて居ますが、一週の獻立を作る事などは、天候と物價とに依つて變へますので私にはまだうまく出來ません。

仕事は、私にとつての救ひであり喜びでありますから、七月一杯も毎朝夫と共に出かけて、九時から午後四時まで働きました。自分の好きな研究ですと、毎日つゞけてしましても決して疲れないのは氣儘なのでせうけれど、暑い最中でも、さうした生活の方が生き甲斐があるといふ氣がつく〴〵いたします。そして四時から歸途購買組合や市場へ寄つて夕食のものや野菜を買つて歸ります。幸瓦斯と水道がありますから料理も面倒でなしに六時頃夫が歸ります迄には食事も出來ます。家にはピチンと鍵をかけて出られると一層便利なのですが、今は母に留守をたのんで居ります。子供でもありますとこれで事情が餘程異つて來ますかも知れませんが、今の所母や周圍の人々の親切によつて何等差支へを感じません。本統によい結婚生活と家庭生活は、よりよく個性の仕事と家庭の使命とを共に完成させて行く筈のものである筈と考へて居ます。

世帶につきまとふ雜事を煩雜にして置いたり、又はこれを女計りの仕事と心得て、宿命的な事として憂欝を感じたり、又は家庭生活を呪つたりする氣持も察しがつかない事はあり

ません。さうでなくても私共は、女も男も、娘も妻も、共に生活に疲れる事があるのですから、さうならない爲にははじめから、何も彼も單純に簡素にして、何時でもそれらのものから自由に成り得るやうにして置くのも一法だと思つて居ます。願へるなら何も持たぬ生活、何も使はぬ生活、何にも囚はれぬ生活、唯働く事、唯與へる事の喜びを持つ生活を理想として願つて居たならば餘程氣樂だらうと思ふのです。
　人を搾取せぬ生活、人を使驅せぬ生活、人に頼らぬ生活、そしてすべての人と協働し協力してゆく生活、そんな社會がもつと力強く生れて來るためには、私達婦人の家庭と仕事の中にもまだ／＼多くの清算されねばならないものが、澤山あるのではないでせうか。

都會と婦人

住井すゑ子

　時代は女性に對して家庭婦人である以外に何等かの仕事を持つことを要求してゐる。つまり主婦であり、職業婦人であることを要求してゐる。にも拘らず、主婦と職業婦人の兼帶は、結果に於て女性そのものゝ破綻とさへなる。云ひかへれば、この二つの仕事は女性に負ひ切れない。負ふことを許されない。これは何故であるか？
　かうした意味で婦人と職業の問題が問題とされ出してから最早隨分と長い月日が經つと思ふ。そして又この問題に惱まされる婦人も日を逐ふて多くなるのだ。しかしながら私は思ふ。この問題は永久に解決されることがないのだ！　と。この資本主義の社會がつゞく限り――。では流行のマルクス主義社會では？　矢張りそれは解決されない。許りでなく、女性といふ獨自の存在までもそこでは冒されることになるだらう。
　それではどういふ社會の下で、女性は家庭婦人として、そして職業婦人として生きられるのであるか？
　それはあらゆる强權と支配のない自治社會に於て可能なのである。
　で、これを分りよく云ふならば、都會といふ搾取體がなくなつた時、婦人は初めて眞の生活を把握出來る。つまり主婦と職業婦人が兩立しなかつたり、それかとて主婦だけでは最早一個の人間として取扱はれず、さりとて職業婦人としてのみでは女並に扱はれずといふやうな滑稽極る矛盾や皮肉はなくなるのだ。これを證據立てるものに農村がある。農村では家庭と職業が兩立しないなんて嘆じてゐる馬鹿や閑人は一人もない。彼女達は最善の主婦であり母性であり、そして最大限の勞働婦人なのだ。

から云ふと、農村だとて、何も自治社會を構成してゐるのではない。都會と同じに資本主義機構の下にあるのだ。それなのに、農村でだけ家庭と仕事が一致するのは何故か？ それは農村婦人が都會婦人に比して無知無自覺な爲ではないかなんて云ひたがる人があるかも知れない。私はそんな人達のために答へやう。今日、都會と農村は全然相反した利害關係の上に立つてゐる。資本主義は都市を構成する。故に都會はそれの恩惠を、云ひかへれば農村搾取によつてのみ生命を保つ都會は、必然に資本主義の城廓となり、都會人はそこの番兵となる。しかもこの主義たるや、女性を女性として決して生かすことをしないのだ。見よ！ 過去の歴史を。そして現實を。女性が女性として生き得られないところの社會に、何故家庭婦人たれ職業婦人たれ、吾等の生き得る道があるか。ブルジョア婦人として眠りを貪る怠惰者は別として、働かうとする婦人がそこに壓迫や矛盾や不合理やを見出すのは餘りにも當然のことだ。彼女達は今や半醒狀態である。今一歩都會の正體に眼覺めるなら、その矛盾、不合理が判然とするだらう。

農村は被搾取體である。故に彼は自治社會を要望する。その大部分がたとひ無意識のやうに見えても、それは外部に發表し得ない立場にあるからのことで、人間誰一人被搾取階級たらんと欲するものではないのだから、その點くど／＼と云ふ必要はあるまい。

農村の欲する自治社會では、家庭とか仕事とかの區別はない。働くこと。それは直ちに生活なのだ。だから、家庭の仕事はつまらなく外の仕事（都會でいふ職業）が意義あり、そして收入にもなるといふやうな、都會の所産たる奇現象はなくなる。現在に於ても自治社會を要望する農村にあつては、何等矛盾のない生活が婦人の上に展開されるのである。云ひかへれば、彼等は既に自治社會を抱藏してゐる。彼等は自治の人間だ。强權と支配が今の今消滅しても、否、その時こそ光り輝く彼等だ。ところが都會はどうだ。强權と支配と、この搾取機關がなくては一日も立ち行かないではないか。

都市と農村の對立。男性と女性の對立。そして資本と男性と、無産婦人の對立。都會無産婦人は、必然に二つの敵に抗爭しなければならない結論になる。一は家庭。一は資本家――。家庭と職業の兩立しない所以である。

ところで私自身はどうか？ 私は些細な稿料を時々稼ぐ。が、それは私の職業ではない。それは主婦としての仕事の延長に過ぎない。だから、私は物を書くために子供を人手に賴んだり、洗濯裁縫に人を雇つたりは決してしない。私は三人の子供のお守の暇に物を書く。だから賣れても賣れなくても書く。それは直ちに生活の一部だから。

農村婦人にして、野に出て働くからとて專問の女中を雇ふ

人間があるか？　又炊事と洗濯で事足れりとして、夫の勞働を傍觀してゐる女があるか？

長々と書き列ねたやうだが、一言にして云へば、都會の否定である。資本主義打到である。これが女性の生き得る唯一の道だ。都會を肯定し、都會婦人を肯定して、家庭と職業が兩立しないと嘆じるなら、それは愚の骨頂だ。それは空氣なくして生きやうとするよりも尚不可能なことだと思はれる。

家庭と仕事

平林たい子

家庭と仕事、それは、ほんとに解決できないこまつた問題です。消費組合が發達して、共同洗濯、共同育兒、共同臺所等の仕事までを引受け得るやうになれば、理想的ですが、それまで、やむを得ないから、家庭内の必要事に對しては、目をつぶつて仕事をしやうと思つてゐます。私どもは、もうこんな形式の家庭生活に入つてしまつたのだからやむを得ませんが、これからの方々には、決して、家庭といふ形式をつくらない生活方針をたてることをおすゝめしたい。

いかに、それが巧に運用されてゐやうとも、家庭といふ生活形式は婦人を退歩させる以外のものではありません。

協力の上に互ひに生きる

奥むめお

私は貧しい中に世帯を持つてまもなく子を持つた。子を負うて働いてゐたあの頃の私の姿を憶ひ出す人が多いものだから、今でも、私に會へばまづ子供の安否を聞いて下さる。

私の家庭は貧しかつたものだから――今でも同じやうに貧しいが――私は千手觀音のやうに働かねばならなかつた。貧しくとも一軒の家であれば、家族のために朝と晝と晩の衣食住の雜用が主婦である私の上に皆かゝつてゐたし、子供への心やりは云ふまでもない。それに職業的勞務が相當に私の時間と勞力を奪つてゐたから、私はよく、みつちりと本が讀みたい。心往くまで蒼空をながめて休息したい。赤ん坊のをしめを輝く太陽の下で洗ひ度い、と心で泣いたものだ。（をしめは朝早くか、夜おそくしか殆んど洗ふ時間がなかつた）

今、顧みて思ふのに、私はずい分と仕合せ者だ。今の私には、尠からぬ協力者がある。それ〳〵に自分の志望をもち事問をもつた協力者が、みんなで鎖のやうにつながつて助け合ひ、働き合つて、曾て私ひとりのものだつた貧乏と、過勞を分ち擔はうとしてゐるのだから。だから私は思ふのであるが

一軒の家でも妻と夫とが協力し荷物を擔ひ合つて助けてゆけば、二人ともに自分を生かしてゆくことが出來る。(私の場合、良人に感謝すべき點が多々あつたことは今更いふまでもない) 町に於て村に於て、大きな仕事の上に於て、めい〳〵が長い鎖の中の一つの環だと思つて、その環の地位にゐて働き合つたらみんなが愉快に生きて大きく働いてゆける筈である。

　これからの社會に生きてゆくには、女である私たちだつて一人々々に孤立の中で自分を生かされないと嘆ずるのはムリな希ひだと思ふ。「みんなこつちへ寄つて來い」(これは協同組合運動の、世界的共通の標語だ) 一つに集ろう、一つに集つて、それ〳〵に得手とする道で働き合つて大きな組織の中で生きつゝ、お互ひに生かしつゝやつてゆく。子供のことも食べることも。勉強も。鬪爭も。遊ぶことも。縫ふことも。々々々々。

　一時間のときはすぐに經つてしまふけれど十人分を集めた十時間あれば相當に働ける。一人の持つ十錢は僅かだが、二十人分の二圓あれば相當に役に立つことわりに、常に立つてゐたいと思ふ。

フース・ヒー (誰アれ?)

高橋 龜吉

新進の經濟學者。全國大衆黨の顧問と云つただけで充分でせう。

星野 鐵男

金澤醫科大學の敎授です。豫防衞生學の大家でつねに母性と兒童保護のために、研究と實際的指導をつゞけてゐて下さいます。

引田哲一郎

大阪毎日新聞社の支那課の方。中華民國の事情に精しく廣汎な資料を以て、タテからもヨコからも持論をすゝめてゆかれます。

村山 籌子

村山知義氏夫人としてよりも、新しい詩人として未踏地に立つてゐられます。

若山喜志子

牧水氏なきあとの喜志子さんは、涙のうちにも勇々しくその獨特の境地を切り拓いてゐられます。

榎本八十子

土に生きつゝ文筆にいそしむやさしいお母さんで、よいお嫁さん。さき頃『世界の動き』の懸賞に當選されました

慘ましき農民の友を

——若山喜志子——

豆と代へて襤褸をもちゆきし百姓の女房ありき十勝の冬に

冬早き十勝の國の百姓は土か嘗むると吾が曾て見き

十年まへに今日ある事を百姓の弟に告げしか見よその今日を

少女の日の先生ゆその百姓のみじめを告げし涙の手紙

秋果てて野に拾ふ何もなくならば百姓一揆起るぞと言ふ

繭の値の高きままにままに百姓は粟播く忘れ桑は植ゑしか

ひとしなみに淺墓なりし百姓とみづからも深く今思ふべし

遠く見ておもひ謀らむ政事家のなかりしと言はば國の耻かよ

思ひみよロシヤの國のスターリンをひた押しのその大き力を

飢の迫りて死ぬ人あらば死なしめよ生くるにまさるといくたりも言ふ



—殴り飛ばした後—

織田　顔

密柑のアキ箱に腰かけて
ヒツソリと酒をのんでゐるのは誰か

執達吏を殴り飛ばして
ケロリとした顔で酒をのんでゐるのは親父だ
俺に長年、ヤセスネをかぢらせた
禿頭のいゝ父ッつあん

俺の肺がガラクタになるまで
鐵鎖でしばりつけて置いたアイツラ
此のからだにムクムクといかりを包んで
家に歸させて見りや
山の様な借金だ
その金が拂へないからつて
鍋釜にフダをはりつけるとは
ダレが作つたオキテだ

親父が執達吏の横つらを平手で
はり飛ばしたのは無理もない
板の間に胡座をかいて俺も愉快だ

俺達のからだは泥くさく
瘠せてギコギコに骨ばつてゐるが
敵と激しく揉み合はふとするカタマリでいつ
ぱいだ
そして俺達の仲間はみなそれだ
泣き喚めく赤ん坊を背負つて
オロオロしてゐるオフクロよ
——お母さん、その泣きづらはみつともない
父ッつあんに、味のいゝオコウコウでも持
つてつてやれよ——

駐在所の旦那も今日は散々立ちまはつたから
今夜は疲れて寢小便でもやるだらう。
なあ、父ッつあん。

臺所所見

筍子

○オロづらふトマトのつぶら實湯をくゞりつるりつるりと裸になるも
○ひね胡瓜つむじを曲げてねそべるをなすび笑つて相手にせぬも
○大南瓜醉ひをさますと肌抜ぎて此の暑き日を居据るらしも



婦人セツルメント運動の發足

奥むめお

愈々、本所の「家」に落ちついて仕事を初める段どりがつきました。みんなの氣持がしつくりと揃つたといふだけで未だ何の設備が整つたわけでもありません。然し、私たちが何にもない乏しさに在るといふ感じが、何ともいへない力強さと、仲間の者同志寄りそはうとする愛を一層強めてくれるのです。

この「家」はほんとうに何にもない空つぽなのです。尋ねて來て呉れる人もまさかこれ程のガラン洞だとは思ひもよらなかつた、と云つてあきれて感心して歸ります。

然し――、私たちは既にこの家を持つてをります。百坪に近いこの「家」は私たちにとつて大きな財です。「家」につゞく近隣の子供、娘、主婦さん、父親、そして富川町を中心にして住むといふ幾千の自由勞働者、六百の浮浪者これらの多くの人たちと共同の利害に立つてこれからの私たちは生きて闘つてゆきませう。

私たちはこの「家」を婦人セツルメントと名づけました。強いて漢字に直して書くならば婦人協同會館とでも云ふのが今の私たちの氣持を最もよく現はしてをりませうか。多くの婦人がこの「家」を中心にして集り協同して働いてゆくのです。協同に依つて組織を固め、組織を通して「家」の仕事を擴大し伸ばしてゆきたいと思ふのであります。引越して來てから、二十日目、凡そ近隣の事情にも見當がついた八月三十日に仕事初めの子供招待會を催しました。装飾費五十錢也といふ豫算しか捻り出せない事情でありました。五色の紙テープを引きまはして子供の喜びさうな装飾にかゝつてゐると間もなく近所の子供たちが色紙やはさみや繪具を持つて手傳ひに來て呉れました。掃いてくれるもの、拭いて呉れる者「四人で餘興をしてもいゝかい」と申込んで來る可愛いゝの、こんなにして思ひがけぬ萬艦飾になつて出來上つたときは子供も大人も一緒になつて手を叩いて心から喜びはしやぎました。

主婦會は九月六日に催しました。近所のおかみさんたちに私たちが引越して來たアイサツをかねてこれから行つてゆか

うとしてゐる仕事についての大體の説明と、みんなで協同してゆきたい希ひとを申述べました。

「あなた方が隣りへ茶話にゆくときかけてゐた前掛をはづすか？　向ひのおばさんが入つて來たとき兩手を卯いてバヵ叮嚀なお辭儀をするだろうか？　（みんな哄笑）これから私たちも代る〳〵遊びによせて貰ひ度いんだから決して他人行儀な遠慮はヌキにして、何ごとでも一緒に話し合へるやうな良い仲間になつてほしい。私たちは今、皆てんでにいろんなムダを行つてゐると思ふ。あちらでは子供の洋服がほしいと思つてゐるのにこちらでは、小さくなつて着られなくなつた子供洋服を、屑屋に賣拂ふのも可愛さうだと云つて徒らに藏ひこんでおく。要らない者と欲しい者とが一緒になつたら何んでもないことなのに、それがないためにムダが出來るのだ。あなた方は內職が忙しいらしい。然しあなた方の內職で得る賃錢は一ヶ月僅かに六圓か十圓にすぎないではないか。然し、內職の仕事がみんな安いのではないのだ。幾人も〳〵仲に立つて口錢をとつてゐる人がゐるから――その人たちは內職をしてゐないのだ――自分が儲けるために實際に働いてゐるあなた方に與へるお金子はうんと少なくしてしまふのだ。（この說明をしてゐるときみんなは感嘆詞をあげてうなづいた）こゝの「家」のやうな處で大元から澤山の內職をとつて來て分けてあげるやうに出來れば、大元でも手數が省けるし第一あなた方の收入は余程殖えるであらう。それから、女は誰でも切りつめた家計のやりくりに一錢二錢でも安い物を買はうと苦心するのであるが、米でも、味噌でも、腰卷でも、正月用のごまめでも餠でも、みんな共同で買つたらうんと安く卸して貰へるから苦心しないでも安いものが買へる筈である……私たちの仲間の（女）中には、うちの仕事を出來るだけ簡單にきりつめてでも何か世の中のために少しでも役立つて働きたい、と云つてゐる人が相當にあるから、これからその人達の中から裁縫の出來る人にはお裁縫を敎へに來て貰ひ、子供のすきな人には託兒所の手傳ひをして貰ひ、お產の手傳ひの出來る人には產婆さんになつて貰ひ、避姙法を知つてゐるお醫者樣からはそれを習ふ。あなた方は內職に邪まになる子供を叱りとばして表へ遊びにゆけと云つて二錢玉を握らせて外へ出すけれど、その子たちの多くは私たちのこの「家」へ遊びに來てゐる。時には擲り合ひを初めたりうんこを垂れたりして困るけれどこの「家」には子供を好きな西野さんがゐて面白い話をしたり、一緒に鬼ごつこをしたりして自分もそれで大喜びなんだから、みんなよいではないか。西野さんはゆく〳〵、大きい子には復習をする樂しみをつけてゆきたいと云つて骨を折つてゐるやうであるが、こんなにしていろいろな人がゐていろ〳〵に働いて貰へるのだから隨分いゝと思ふ。この「家」を此のやうにしてみんなで働いて、みんなで

利用して女と子供のための協同の「家」といふことにしたいからぜひ、みんなちよい〳〵やつて來てほしい」云々。

然し私たちはこれらの當面の仕事のために精魂をすり減らして疲れてしまつては大變だといましめ合つてゐます。仕事に敗けては大變だからです。敗けるほど力に餘る澤山の仕事を仕負ひこみますまい。

眼を轉じて考へれば今の世の中にはいろんな意味で人手を借りたい人、貧しい人、不幸な人が隨分と多いのですからさういふ人たちのために役立ちたいと希ふ私たちの仲間の者の願ひがどんなに切であろうと、そしてさういふ仲間がどれ程に多いとしても、それらの人たちで手をあて心を使ひ精魂傾けて手傳つて出來る仕事といふものは社會全體の上からみては、全く實に微力なものでしかないといふことを考へずにはゐられないのであります。世の中の多くの不幸が今のやうな社會の經濟的政治的成立ち、組織そのものから必然的に來てゐるものだ、と信ずる私たちは、そこいらの社會事業家の中に多く見るやうに、不幸な人の前にセンチメンタルな涙を流してちよつとした親切を施した上、徒らな自慰に耽つてゐるやうな獨りよがりの仕事でこの婦人セツルメントの仕事があつてはならないと思ふ故に、私たちは婦人セトルメント運動を重要な社會運動の一翼として、相互に、この「家」の道場で訓練をうけ、そして撓まざる鬪爭力を培ふ結束地點として生かしてゆきたいと思ふのであります。

私たちに持ちよつた經濟的資本があるわけでなし、有るものはたゞみんなの、熱と意氣ばかり、苦しみを共にしても、かういふ仕事の上で協同することに私たちが及第するならば農村に在る私たちの仲間にも、都市に於ける友人たちにも婦人の協同運動の可能と必要を信じさせ、併せてそのためのよい刺戟をいくらかでも與へることが出來るであろうと信ずるのであります。

今や、ゆきつまつた社會狀勢の轉換策として支級配階の意圖する隣保事業がやうやく盛んになろうとしてゐるこの際、民衆を去勢させ、骨拔きに動員しやうとするのでは全然ない民衆の苦難なる生活をはつきりとその目で見させその心で感じさせて、その苦難の中から自らの力で浮び上ろうとする鬪爭心を協同のうちに燃え上らせるための隣保事業！　これこそわが婦人セツルメントがうけもつ最上の仕事であろうと考へるのであります。

これから子供にも、大人にも、女にも男にもほど〳〵に必要な當面の仕事を、自由に、臨機應變に働いて行つてその固定しない自由の中に山のやうに動かない私たちの意志をがつちりと植ゑつけてゆきませう。

何故こんな大不景氣になつたか

高橋龜吉

日本の不景氣の特殊性（一）

今日の不景氣はどう云ふ原因から來たかと云ふことに就いて、內閣側及び其他の人々は、世界的不景氣の影響であるから日本だけではどうすることも出來ないと申して居ります。が併し單に世界的不景氣の影響だけでは日本現在の不景氣の眞相を說明することは出來ない。隨てどう云ふ對策を立てたら宜いか將來どうなるかと云ふこともはつきりして來ない。私は是を解剖して極大なき原因だけ數へても凡そ五つ擧げることが出來ると思ふ。其の內日本獨特の原因が四つ、世界的な不景氣の影響と云ふのが一つあると思ふ。

日本獨自の原因の中の一つは何であるか、明治維新以來日本の經濟を長足に進步發達せしめた原因が大體に歐洲戰爭を句切にして消滅し、その代りに惡い原因が浸潤して來た。たとへば、日本の工業が發達して來たのは賃銀が非常に安かつたのにも因つてゐるがさう云ふ原因は殆どなくなつて仕舞つて居る。それから未だ開發されてゐない資源が相當にありそれが歐米の技術を輸入移植することに依つて、急速に開發されたのであるが、これも大體枯渇して來た。それから外國のものを模倣して發達することが出來たのが日本が一人前になると最早單なる模倣に依つて發達し得られる餘地が非常に少くなつた。それに今迄支那其他の後進國が、日本のものを

どん／＼買入れて居つたのが自國の產業が發達した結果、日本からの輸出が激減して來た。それから今迄は日本の發達の中には、武力に依つて海外に發展して來た所謂帝國主義的發展が少からん原因をなして居るが、これも歐洲戰爭を句切りにして、其後に於ては寧ろ壓迫を受け却て退步して居る。

斯樣に色々な方面に於て今迄發展して來た所の原因がなくなつたばかりでなく、今迄にない所の日本の經濟を壓迫する原因が殖へて來た。其一番大な原因は、遊んで贅澤な生活をする階級が非常に殖へて來たことである。明治維新は、武士階級と云ふ非生產階級をなくして、總てを働く階級にして仕舞つた。日露戰爭前後を劃期にして、維新以後働いて一家をなした人々が二代目に之を讓る。二代目は親の後を受けて、遊んで贅澤な日常をおくる。又恩給で樂に暮せる人が非常に殖へた。或は土地や其他の地價が上つた、遊んでゐて地代で食へる人がふへてゐる。地代が上れば家賃が上る。米や農產物の値段が上る。それだけ勞働賃銀が高くなる。原科が高くなる。さうすれば其國の生產費――產業の生產費が段々高くなつて來る。斯うして日本の產業を行詰らせて來たのである

日本の不景氣の特殊性(二)

さうすると今日の不景氣はどう云ふ風に打開して將來どうなるかと云ふ當面の目先問題になる。第一に擧げなければならんのは歐洲戰爭以後に日本の財界は非常な整理を必要としたに拘はらず糊塗彌縫して是をなさなかつた事である。

大正八九年物價が非常に高い時に新設された工場其他は、今日では當時の殆ど半値に見積らなければならない。だから高い時に設備した會社、之に金を貸した銀行は大きな損をしたわけであるから、普通ならば減資減配をやつて大整理を行ふべきであつたに拘はらず彌縫策だけをやつて來た。銀行會社は儲りもしないのに儲つた如く帳簿を誤魔化して蛸配當を續けて來た。愈いけなくなつて破綻しかけて來る時分には救濟運動を起す、政府は之に對して預金部の金を貸付け昭和二年の銀行騷動の時の如きは七億からの補償をして救濟してゐ

る。斯う云ふ風なことをやつて徹底的な整理を極力阻止した。今日も依然として阻止して居る。これが今日の不景氣の根本原因の一つである。これが金解禁を行ひ緊縮政策をやつて大いに日本の經濟界を立直さなければならなかつた根本原因の一つであります。

如何なる内閣が如何なる方法に訴へて整理をやるに致しましても、相當の苦痛が財界に來ると云ふことは免かれません注意せねばならない點は、我が國では上述の如く銀行會社實業家と云ふ所に禍根があつたから爲替が暴落したのである。所が歐洲諸國に於て爲替の下落した原因は何處にあつたかと云ふと戰爭の爲めに何十億圓と云ふ金を使つて其爲に借金が殖へて食込んだのである。言葉を變へて言へば財政的に食込んだのであります。所が日本に於ては歐洲戰爭中の財政は年々三億四億と云ふ金が餘つた。財政的に少しも食込んでゐない。爲替が暴落したと云ふのは銀行會社其他の實業家方面で食込みを續けた其結果であります。

原因がまるきり歐洲と日本とは違ふ、隨て此原因を克復するには勢ひ手段が違はねばならない。歐洲に於ては戰爭及戰後の動搖を招かぬ爲に政府が公債を出して金を使ひ込んで居つた。それが爲替暴落の原因であるから財政の整理が一番必要であつた。かやうに日本と外國とは原因が違ふ。隨て手段が違ひ影響が違ふ云ふことを豫め覺悟して掛らなければならなかつた筈であります。所が井上藏相や濱口首相は之をごつちやにして考へてゐたらしいのであつて、外國が皆財政の緊縮をやつたのであるから日本もやらなければならないと云ふので財政の一大緊縮をやつたんである。原因が丸るきり違ふやつを同じ療治法でやつた、其結果として非常に惡い影響を起したのである。

準備なき金解禁の犧牲

第三の原因は現内閣の政策が不景氣を深刻にした。金解禁の時期と方法、準備と云ふものが全然間違つて居つたと云ふことであります。金解禁をやらうと云ふのには先づ準備が先

である。特に必要な準備は國際バランスをつける事である。日本から外國に支拂ふ金と外國から受取る金との差は每年二億三億と云ふ風に、拂ひ出す金の方が多かつた。さう云ふ狀態を續けて居たんでは金解禁をやると金貨が外國へ出てしまつて直ぐ參つて仕舞ふ。だから金解禁をやるのには豫めさう云ふ狀態をなくすると云ふことが必要であつた。尤も舊平價解禁をやりました國の主な國はイギリスであるが、イギリスはさう云ふ準備が殆どいらなかつたのである。何故ならイギリスは每年貿易外に四十億圓位受取る金があつた。貿易の方で三十億內外の輸入超過がある、それを差引ても十億圓內外受取りが多い。でイギリスとしての金解禁の準備としては舊平價解禁をやると物價が下るために生ずる經濟界の打擊を小さくする準備さへすれば宜いと考へられた。

我國の當局者はイギリスの準備だけを考へて國際貸借がどう片がつくかと云ふ方面に對する目安と云ふものは殆ど出來ずに金解禁をやつた。本式に云へば先づ金解禁をやる前に日本の產業――今日盛んに民政黨內閣でやつて居る產業合理化日本產業の統制化あゝ云ふことは大した效果があるとは信ぜられぬが、假に民政黨內閣が信ずるが如く大きなものとするならば金解禁前にやつて貿易のバランスがついて其上で金解禁をやるべきであつたのである。所がそれでは數ケ年を要する井上藏相はそれを待つことが出來ないで、金解禁と云ふ非常手段をやつて其壓力で以て貿易のバランスを良くしやうと考へたのである。日本の經濟界の改造といふやうなものは一年や二年の間に出來るものでない。今やつて居る產業合理化運動が民政黨の豫想通り成功するにしても、其結果日本の產業が發達して輸入超過がなくなると云ふのは如何に早く見ても三年を待たねばならぬのであるから、さう云ふ見當で行ふには二年や三年の間每年二億三億の輸入超過が續いても、日本の財界が不安に陷る樣な事がないと云ふ準備がなくちやいけない。其準備がなしにやつたもんだから今日になつては此國際バランスをどうつけるかと云ふことの爲に他の有ゆる政

策を犧牲にして此不景氣に拘はらず手も足も出ない。此際無數の失業者を救濟し、農民や中小商工業者を何とかせねばならない時期にあるに拘らず、これが出來ないのは國際貸借のバランスが出來ないのにやつたといふことが一番大きな原因であると思ふ。

次にどう云ふ時期に金解禁をやるべきであつたかと云ふに舊平價解禁をやる立前から言へば舊平價解禁だけで一割五分位物の値段が下がる、其打擊を出來るだけ小さくするには世界の物價が上がる時に解禁をやらなければいけない。一割五分物の値段が下るとしても例へば世界の物價が八分上がる時に金解禁をすれば七分で濟む、反對に世界の物價が下がる時にやつたらどうなるか、八分下つたとすると一割五分と八分の合計二割三分下つたと同一の結果を來す。七分ですむのと二割三分になるのとでは大變な相違である。況んや今日世界の物價は二割以上から下がつてゐる。

茲にも一年六十億の損失

斯う云ふ譯で準備もなく其上非常に惡い時期に而も舊平價解禁と云ふ方法をとつた。これは物價を一割五分ばかり引下げると云ふ危險な仕方である。物の値段を一割引下げるといふことは非常に大きな打擊を財界及國民に與へる。今日の資本主義經濟は利潤を目當に凡てのものが經濟活動をやつて居る。所が物の値段が下がるといふと生產費が下がらない限り利潤がなくなる、利潤がなくなれば運轉がばたと止つて仕舞ふのである。資本家は儲からないと工場を閉鎖して仕舞ふ、職工は働かうと思つても働けない。これが百姓だとやつても損だと思つても今年の繭のやうに遊んで居るよりもましだといつて働く、これは資本主義經濟でない。資本主義經濟は儲からなければ生產しない。從て日本の經濟界は遊んで食うことになる。現內閣の諸公は遊んで食ふといふことを大したことでないやうに考へていらつしやる。成程諸公は日頃遊んで食つていらつしやるかも知れないけれども、經濟界から云へ

ば其國の富と云ふものは生産が根底的要素である。統計局の調べに依ると日本の一ケ年の所得は百二十億圓と計算されて居る。所が今日國內の生産機關の半分と云ふものは遊んで居ると云つても大した大袈裟な見方ではない。諸君は戰爭の時にうんと財を破壞しながら割に國家が疲弊しないのを不思議がられると思ふ、何故かと云ふと一方では戰爭で物を費ふけれども一方に於ては皆んなが一生懸命に働くから差引本當の破壞になるのは少くなるためである。不景氣の時代に於ける富の破壞と云ふものは眼に見えないけれども非常に大きい。手持商品が下がるばかりでない、土地の値段も彼も何も有りと有ゆる物の値段が一割五分ばかり下がつて來る、借金と税金だけが下がらない。借金、税金は下がらない、けれども生産品は下がつた斯う云ふことになるとそれだけ負擔が非常に殖へて來たことになる。さうなれば今度は皆んなが物を買ふ力がなくなつて來る。物が賣れない、現內閣の諸公は物は値段が下がると賣れるやうに考へて居る。焉ぞ知らん買ふ力がないのである。

世界的不景氣の原因と前途

世界的不景氣の原因は要するに生産が過剩なのである。歐洲戰爭及戰後に物が足りなくて非常に物價が暴騰した。此機會に先づ、南北アメリカ、濠洲等に農耕地が激增し、小麥の生産が激增した。又、其他にも色々な發明が出來た。最も甚だしいのは人造絹糸が發明されたことである。それが實用に適するやうになつて織物原料に一大過剩を來たした。又窒素は智利の硝石からのみ取られたのであつたが空中から窒素を取るやうになり肥料界に一大革命期が來た。セルロイドの原料は楠から取つた樟腦で、從てセルロイドの生産高は樟腦の生産高に制限されて居つた。ところが人造樟腦が出來るやうになつたためセルロイドが非常に安く出來る。そこに生産過剩が出來た。又砂糖の如きも栽培法が進歩發達して産額の激增を來した。自動車其他も大增加した。歐洲戰爭及戰後に一大發明、一大進歩が生産界に行はれ、産額は非常に殖へたが

それを使ふ各國民の懐は一向に殖へてゐない、寧ろ減つて居る。それが今日の世界的不景氣の根本なのであります。例へば生糸の如き七百圓臺を割り生産費を食込むやうな現狀である。又羊毛も然り小麥も然り今日世界の重要商品が殆ど生産費以下に暴落して居る。生産費を食込んで迄も生産を續けると云ふことはないのでさう云ふ時には直ぐ生産費の所に迄返つて來るのが經濟界の原則であるが、かやうに生産界に革命が來て生産過剰になつた場合にはその反對のこと、即ち生産費を今後より下げて行くことに工夫が費されるではないかと云ふことを考へねばならない。さうすると所謂此世界的不景氣が急によくなると云ふことは考へられない。どうしても早くて二年は待たねば駄目だ。斯う云ふことを我々は考へて行かねばならないと思ふのであります。斯樣に不景氣の原因と云ふものは輻輳してゐる。

銀行の保護に急なる政府

第五は金解禁と不景氣に對する善後策が間違つて居る。金解禁及其後の善後策は一體どう云ふことをやるべきであつたかと云ふと各國に於ては財政を整理すると云ふことが必要であつた。歐洲諸國が戰後に財政の一大緊縮をやつたと云ふことは當然のことで、日本が日露戰爭後に財政の整理を必要としたのと同じである。然るに日本では銀行會社の整理をやらなかつた爲に食込んだのだから此の善後策としては銀行會社が整理をするやうな方法を取らねばならなかつた。資本主義經濟では金融を引締めるのが最も良い方法である。金融を引締める所謂通貨の收縮政策を取ると銀行は手許の金が少くなる。不良會社は銀行が警戒して貸して與れなければいやでも儲らないものは儲らないと正直な決算をせざるを得ぬ。從て配當がなくなる減資をする。それだけ株主は財産が少くなり收入が少くなると云ふことになるから、利子や配當で喰つてゐる人々は節約させられるのである。

又金利を上げると高い金利でも引合ふ事業だけは起きるけれども餘り必要でない事業は起きない、つまりそれだけ事業

界の節約が出來る。整理時代には金利政策以外に有効なる方法はないのである。勿論金利を引上げれば公社債の値段が下がり公社債の大部分を所有する銀行が一大損失を蒙る、どれだけ損失を蒙つても銀行に對する信用がびくともしない時代ならば政府はやり得たかも知れない。所が信用が大丈夫でない。それだけ損失が來たならば彼處の銀行も危ぶない。玆の銀行も危ぶないと云ふ風の狀態にある銀行が少からずある。そこで政府は金利を引上げると云ふ政策を取り得なかつたのである。又政府は今日と雖も鐵道其他の方で公債を發行して居るのである。本當に緊縮をやらうとするならば斯う云ふ新しい公債は市場に募集して遊んで居る金を引揚げると云ふ政策をやるべきである。所がさうすると是また公債が暴落すると云ふので、それをやらずに其大部分を預金部に引受けさせて居る。日本銀行に預けてある金を市場にはまわすわけであるから市中に流通して居る金は殖へて、それだけダブつくと云ふことになつて來る。政府が斯樣な政策を改め新しい公債の事業は全部市中から募集し預金部から金を出さないやうにすると金融は引締つて來る。

失業者を増加する政策

政府は御承知の如く財政緊縮と云ふ名に於て事業の中止繰延べをやつた。井上大藏大臣が去る臨時議會に於て誇かに言つた所に依ると云ふと、昭和五年度に於ては五億圓の公債事業を中止乃至延期させた昭和四年度に於ては四億圓ばかりの公債事業を中止したと云ふのであるが、此不景氣の時に公債事業を四億圓減らす、それがどう云ふ風になるかを考へて見ねばならん。資本家の方では手も足も出ない益々仕事がなくなる。仕事がなくなればそこに從事して居る人間が失業するばかりでなく其處に使ふ材料が要らなくなる。其の商賣人も物が賣れず農民も農産物は賣れなくなる。五億なら五億の仕事がなくなると將棋倒しになつて何十億圓の仕事がなくなつて仕舞ふ。不景氣は深刻になつて來る。そこで出來るだけ之を緩和するために各國政府は何れも公債を起して政府自身で

仕事をしてゐる。アメリカでは何十億圓の公債を起して仕事を始めた。ドイツ、イギリス皆さうである。

然るに日本に於ては此不景氣の時に反對に仕事は四億も五億も減らされて居る。昭和五年度に於ては五億減つた上に又最近の經濟難局に就て四千萬圓餘の事業繰延べをやつて居る兎に角五億四五千萬圓の仕事を減して仕舞つた。斯う云ふことをやつてゐるとしまいにどう云ふ風になるかは私から言はなくともお分りのことゝ思ふ。

若しさうでなく一方で金融を引締め一方では公債を起して仕事をどん〳〵起こしさへすれば、一方に於いては節約が行はれ一方では仕事を與へることが出來るのである。さうすれば不景氣は緩和される。此處で一言申上げねばならぬことは現内閣諸公殊に井上藏相は、公債を起こして仕事をするといふことは日本の富を費つて失くするやうなことをいつて居る此位まちがつた考へはない。日本の國富は内閣統計局大正十三年の調べに依ると一千億百圓許りある。その中現金がどれだけあるかといふと、當時十三億しかない（今日は九億圓以下に減つて居る）さうすると後の千八十七億といふ富は田畑家屋、鐵道、工場、船舶、港灣、河川の類である。内務省の調査に依ると河川の氾濫だけで年八千萬圓の損失がある。改修のために政府が五億の金を費つても優に採算がとれる。其中の二億が勞働賃銀だとすると勞働者の生活は之に依て維持される。小賣商人も材料商も救はれる。仕事の結果として五億の富が道路に河川に鐵道に生産される。ところが政府が何等仕事をしなければ勞働者の喰ふべき二億圓は何等生産することなしに食ひ潰される。それだけ國富が減るのである。之を吾々は忘れてならぬ。井上藏相は銀行出の人である、銀行家といふものは銀行に預金が殖えないと國の富が殖えないやうに考へたがる、しかし日本の財産の大部分は今云ふやうに現金ではない。諸君の家庭に於ても然り現金預金等は僅かで着物だとか何だとかが主な財産である、勞働者を遊ばしておくといふ位くだらぬことはないから之に仕事を與へて日本に必要な財産を作るといふ事はそれは結局富の增加である。

以上が今日日本がこんなに大不景氣になつた根本的原因の主なるものであります。

（次號完結　文責在記者）

不景氣時代
しでお

◇

「……農民の多くは明日の糧の心配で心一杯です。米麥の使用は次第に減じて馬鈴薯、さつま芋が常食になつて來た。繭が一圓五十錢では、農民は首を縊るか牢屋へ行くかより外に道がない…」
（一農民の手紙）



減食、絕食 飢餓線！

今度の事務所は市電富川町でおりるのが一番近い。富川町近邊は自由勞働者の溜りばとして古くから有名な所です。それだけに、たづねて來られる人の第一の質問は、この邊は隨分男の人がうろ〳〵してゐるのね、あの人達は何？である。

あの人たちは今日の仕事にありつけなかつた人、勿論食にもありつけないに違いない人――職を求めて與へられず減食し、絕食も餘義ないといふ人たちが澤山に橋の袂に重なり合つてねてゐる。動くと腹がへるからである。人間はどこまで此の不幸に堪へてゆくつもりだろう、と私には不思議だ

次の調査は例の貰ひ兒殺しの慘話で有名になつた板橋町岩の阪一帶の、此の頃の窮乏ぶりである。不景氣は世界的の大勢だ。その内よくなるだろう、と高見の見物をしてゐる大藏大臣のおひざ下の新東京光景だ

一、主人土工、妻もの乞ひ　（家族六人）
主人は八月中二日、息子四日就業。妻收



◇

富川町の邊では飯を食はない人夫達が何時でも五、六百人野天で夜を過してゐる。それを目あてに救世軍の人達が、時々二百位の握り飯をもつて來る。集るはく〳〵。とても分配しきれず、貰ひもれた人々は、車の後に續いて延婉長蛇の列をなしてゐる。

入一日卅錢、殘飯をもらつて來てかゆにして時々たべる。蒲團着物何にもなし。

二、主人人夫、妻もの乞ひ（家族四人）主人七月中は七日、八月は中二日就業。妻收入一日五十錢弱、ごはんはどうにか食べてゐるがお菜は買へぬ。

三、主人洋傘直し、妻物乞ひ（家族五人）一日の收入二人で六、七十錢、殘飯をたまに買へる程度。

四、主人便所洗ひ、妻もの乞ひ（家族三人）一日四十錢位、殘飯を常食、たべられぬ時もある。蒲團一枚きり。着物なし。

五、主人人夫（家族四人）七月中は十五日、八月中は八日就業。一日一圓四十錢、殘飯をくふ。子供にだけ食べさせて親は絶食のときもある。蒲團かりてゐる。

六、夫妻で屑や、子供一人は奉公に、一人はいかけや（家族八人）親はたべぬ時が屢々ある。蒲團はある。冬着物なし、四疊半一間きり、狹くて蚊帳もつれぬ。

出席者

愛兒女性協會　濱田、尾崎女醫
使徒行社診療部　野尻ドクトル
姙娠豫防相談所　秋澤藥劑師
社民婦人同盟姙調相談部　亀田助産婦
中根姙調相談所　中根助産婦
「産兒制限評論」社　倉持、大川

婦人セツルメント內 姙調相談部　廣瀨、田中 西野、奥

【會場】本所區林町二ノ七八 婦人セツルメントに於て

姙娠調節座談會

――最も確實なる方法に就いて、實際に相談所を營んでゐられる專門家だけの徹底的な座談會の筆記――

奥むめお　今晩はお忙しい處を遠路お足勞願ひまして失禮しました。こんど、この大きな家が私どもに與へられましたので、一つ、女同志でそれ〴〵に持つてゐる才能を持ちよつて大いに働いてゆかうといふことになつたのでございます。

實は、私共がこの「家」に事務所を移してから未だ五日にしかなりません。御覧の通り荷物の繩も未だ解いてない位ですが、私共としてはまづ當面の重要問題であるところの姙娠調節について、出來るだけ有効な教育的宣傳運動をつゞけたいと思つてゐます。そしてこの家に理想的な相談所をおいて實際の指導にもあたりたいと思つてをりますので、第一番に、姙娠調節相談について早くから働いてゐて下さる先輩各位にお出でを願つた次第でございます。つきましては、この問題は私共が婦人として、特に母親として最も痛接な問題であるので、何を措いてもまづこれを始め度と痛感してゐるのでありまして、專門的な實際のことはすべてその道の先輩――つまりあなた方のお助力を願はなければならないのですから、何分よろしくお願ひ申

上げます。

濱田　かういふ相談所を利用する人は智識階級が多い。私の方でとつた統計でみても、智識階級8無知階級2といふ割合になつてゐます。それにみんな自分の家の近くにある相談所へはゆかないで必ず遠い方へゆく。斯ういふ下町の貧しい區域で相談所を初めることは確かによい事なんだがほんとうに必要な筈の近所の人は來ないのぢやないかと思ふ。

倉持　然し、近所の貧しい人ばつかりが來たんでは經營が成立たんだらう

奥　私共も、かういふ土地に緣あつて住み込んだ以上は近所の貧しい人たちが子供を生みすぎないやうに、生んだ以上は貧しい者でもその子供を立派に養敎育出來る道を切り拓いてゆかねばならぬといふ運動を進めてゆきたいと思つてゐます。同時に、一般の母親へも私共の經驗が敎へてくれた實感でもつて、今生れたら困るやうな事情があるとき、母たる者は姙娠しないやうに手當てをするのがほんとうの親の愛だといふことを擴めたいと思つてゐます。

尾崎　どの方法を奬めますか。

奥　みなさんが一番確實だとお考へになつてゐるのは何でせうか。

尾崎　私の方ではダッチ・ペッサリー(ゴム製)と、ゲルトラ(黄金製)を使つてゐます。

野尻　僕の方ではピンとダツチ、藥も扱つてゐるが。

奥　多くのお醫者樣は醫學的な理論から、藥は奏効不確實だと仰言るけれど、私共の經驗は藥が簡單でたしかでよいと思ふのですがいかゞでせう殊に、農村や貧しい無智な人には……藥が賣り易く、使ひ易くて一番よいです。

秋澤　藥が利かないといふのは鍼灸師や按摩が醫者を惡くいふやうなものです。

野尻　然し、どの醫者だつて、盛つた藥が必ずみんな利いてゐるとは思つてゐないだらう。藥に百パーセントの奏効を期待するのは素人考へだ。かといつて、だから藥は駄目だといふ結論にはならないのだからゝ。

濱田　僕の處では藥は扱ひません。

中根　私の處では扱つてゐます。

濱田　うちでは、相談に當つてゐるのが醫者ですから扱はないのです。

尾崎　使ふにしても、それはダツチと一緒に用ふものだけです。

奥　小川（隆四郎）さん處ではどうでせう。

秋澤　全てのものを置いてゐます。

廣瀬　いろんなものを全部揃へておくのと、一つか二つに限定しておいて奬めるのとどちらがよいのでせうか？

尾崎　いろんなものを並べて迷せるのは不可ません。何にも知らない素人が頼つて來るのですから確實なもの

を一つ與へて、これです、と奬めないといけません。

中根　本をあげて、かういふ方法もある、あゝいふ藥もある、と説明したら、結局何にも買はずに迷つて歸つてしまつた人がありますよ。

秋澤
野尻　確實なものを確信を以てすゝめるのが一番よいですね。

濱田　私もさう思ひます。その確實なものに就て、みんなに意見の相違があるやうだが……

大川　僕の方の雜誌（産兒制限評論）にこの頃宣傳してゐるのですが、安田診療所で黄金球を使つてゐます。一つ七圓もするさうですが。

濱田　どこへ入れるんですか、腟ですか？

大川　いや、子宮の中へです。

野尻　そんな大きい奴が入るかな。

濱田　分泌物に困りあしないか。

大川　決して困らないさうです。

濱田　出し入れするために紐でもついてゐますか。

大川　いゝや。

野尻　とり出すのに困るだらうに。

大川　初めは落ちたりして大分失敗があつたさうです。

濱田　落ちていけないなら、取出すときなほ困難なわけだがなあ。

廣瀨　此の頃婦人サロン（文藝春秋社）でも相談所を初めたさうですが……。

濱田　あれはうちが相談にのつてゐるのです。ダッチを賣るのです。診療まではないので、問合せに答へる程度です。

奥　ダッチを通信で賣つて、素人にうまく使へるか心配ですね。

倉持　ダッチは簡單でよい。

濱田　主婦の友、婦人世界あたりでも隨分賣れてゐます。

尾崎　ダッチや藥は通信でも出來ますゲルトラは全然だめです。

倉持　ダッチは買つた人が、見たゞけでびつくりしてこんな大きな物が子宮に入りますか、と恐れをなしてしまふことが多いらしい。

尾崎　何しろみんな、子宮つてものがどんな構造になつてゐるのかを全然知らないのですから質問だつて、コツケイなのが多くて……

濱田　これを入れて尿や大便はどうするつて聞く人が多いんですよ。

（一同哄笑）

龜田　ところが一週間も入れてあつたことを知らなんだ、といふ人もありますからね。この間も、川崎の自宅まで歸つてからダッチの容器がカラッポだつたつて、驅けつけて來た人がありましたが、あなたの子宮に入れてありますよと云つたら、驚いて歸りました。

田中　こないだ警視廳で、避姙ピンの弊害が頻々と出るので禁じたい方針だと云つてゐました。

野尻　云はざるを得ないでせう。醫者

に入れて貰ふ人はほんとに尠いんだから、素人が何にも知らぬのに自分で入れて失敗してその尻を産科醫の所へ持込んでボラれたり、警察へ訴へたりするんですからね、五年も入れつぱなし、といふのがあつたですよ。無知、恐るべし、だよ。

龜田　それに、粗悪な物を賣りつけてゐる奸商も隨分多いんですから。悪い金屬で出來てゐるものは必ず子宮を損ねます。何に依らず信頼出來る處から買へ、といふことをうんと宣傳しなければ。

濱田　無智や奸商や不注意に依る失敗を、堂々と失敗例にして反對したり捻ぢこんで來たりするね。

　アメリカでは巡回する看護婦をおいて、避姙をしてゐる婦人を訪問しては様子をみてやるやうにしてゐるが、日本の家屋の構造ではそれが出來まい。

中根　私はずつと十年越避姙希望者の求めに應じて出張してゐますが、初めは恥しがつて來なかつた者もこの頃ではよくなりました。

奥　高知の福永さんは、一村に一ヶ所の相談所を作る計畫を進めてゐられます。福永さんのやうな實際家が澤山に出て一ヶ月に一回乃至二三ヶ月に一回宛巡回してみてあげる様にしたいものです。私個人としても隨分あちこちへ姙娠調節の講演に引ぱられますが、いつも云ふのです。私なんか宣傳だけしか出來ないのだから實際家を招んで實際に行つて貰ひなさい、と。これから代る〳〵皆さんのやうな實際家に一緒に來ていたゞいて耳や目から入れてゆく教育運動をすると同時に實際の施術もしてゆける組織で進みたいと思ひますからぜひおくり合せをつけて出張して下さいます様。各地方に相談所を作つて貰つて、それを助けてあげるのです。

倉持　僕らの方では實際家ばかりで宣傳役をやつてくれる人がほしいと思つてゐたのだ。大いに奥さんの仲間の人に進出して貰はう。地方ではこの頃痛切に要求してゐる。

休　憩

秋澤　相談所へ來る人の中にはすでに姙娠してゐる人がうんとある。から

いふ人をどうするか、といふことはきめておく必要がある。

奥　勿論私共の仕事は教育運動を主にしたものですから、産兒制限とは、姙娠をしないやうに豫め手當てをするところだ、といふことの理解からかゝりたいと思つてゐます。

秋澤　然し、産兒調節といふからにはお産をすることをコントロールするのだから、お産の前にどうかするの、は當り前だらう、と來るのだ。

廣瀬　昔のマビクといふのは、生れて來たものの息の根を止めることでさへあつたのですからね。

秋澤　泣きつかれると實際困るんです

濱田　私の處へも出來てしまつてから來る人が相當にある。みんな斷ることにしてゐる。斷りかたに苦心するのだ。手紙で問合せて來るのも有る甚しいのになるとハガキに堂々と書いて、姙娠三ケ月ですが完全な方法を敎へて下さい、といふ振つたのがある。刑法の墮胎罪を知らないのだらうか。

廣瀬　そんな人のための月やくおろしの賣藥が盛んに賣られてゐるぢやありませんか。利くのでせうか。

濱田　隨分賣れてゐるやうですが、利く筈がありませんよ。賣藥は害がないものなら、許可しないわけにゆかないから。

奥　さき頃、青森でも長野でも聞いて來た話ですが、月やくおろしの藥を申込んでやつた封筒を持ちまわつてお前の處で墮胎したらう、金子を出したらよし、さもなかつたら訴へてやるつて、證據をつきつけて恐喝してまわつてるのがあるつていふからうつかり買つたら大變ですね。

秋澤　ある醫者の處へは、ムリヤリ賴んで墮胎手術をして貰つておいて、夫婦同伴でユスリに來た。といふのもある。然し中には「私はいつも二ケ月や三ケ月月經がとまることがあるので、今度もさうかとも思ふのですが」と云つて來る人もあります。

廣瀬　さういふ風に氣を利かしてきり出してくれるといゝのですね。

秋澤　ところが、姙娠だ〳〵と云つて來るのがあるのです。どうして姙娠だといふことがあなたに確かにわかりますか、と詰問するのですが、法律は姙娠かどうか解らぬ者の月經閉止を通じさせることは罰してないのだけれど、どうもそこを……

大川　奥さんはこの仕事を金儲けになると思つて初めますか。

奥　娠姙調節の宣傳で勿論儲けやうとは思つてゐません。女として子供を制限する必要のある人に一人でも多く、よい方法があるから實行しなさいと奬める仕事ですから。

　然し、多くの産兒制限相談所やそれに類似の藥品や器具を賣つてゐる所で隨分儲かつてゐるのですから、私共も安く賣る代りに澤山に賣つて

儲けた剩餘金を積立てゝゆきたいと思つてゐます。買ふ方だつて、信用の出來ない、金儲けだけを目的とした商人から買ふ代りに、成べく私共のやうな處から取引きして吳れるやうになれば、商人の儲けはその一個人の懷に入つてしまふだけだけれど私共が儲けた積立金は、又どん／＼必要な敎育運動なり、共同に必要な設備なりにあてゝゆくから一層よいわけになります。

野尻　とにかくこゝでは大いに敎育運動を進めてゆくのだな。

倉持　女に理解を持たせると、生れて來る子供も大助かりですよ、良人は勿論だし。

奧　然し敎育運動は最も必要なのに金子を喰ふ地味な仕事だから辛い。それに私の處へレンラクをとつて來る樣な處はみんな貧しい人ばかりですもの。財源がなくて……

濱田　うちでは三十錢宛相談料をとることにしてゐますが。

廣瀨　貧しい人の間へ宣傳したいと思ふのに相談料をとつてゐては利用されますまいね。

野尻　會員といふことにしたら？　拾錢位で。

廣瀨　成程よい考へですね。

龜田　大阪の柴原さんでは五十錢宛、嚴重にとつてゐるさうです。

廣瀨　そんなにしては人助けの意味を餘程減殺されてしまひませう。儲けが主になつては……

田中　ダッチでも高價すぎる。藥でも高いといふ人のためには？

野尻　○○に○○をひたして挿入したら。

尾崎　丸まつて困ります。

濱田　△△ならよいですよ。

大川　△△なら五錢で買へて長く使へる。

倉持　然し、あんなに感じの惡いものはないですよ。

秋澤　どうせ形のあるものが入れば良い筈はない。馬島さんも云つてゐるではありませんか。入れ齒をしたつて初め暫くは氣持が惡い。然し慣れゝば何ともないつて。

（一同哄笑）

奧　これからはこゝに宿泊も出來ますから、姙娠調節の相談所をしてゆきたいといふ產婆さん、消費組合、勞働組合、農民組合、政黨などの地方有志のために專門にわたる講習會も開きたい考へでをります。そんな場合にはみなさんで參加して下さいますやうお願ひ申上げておく次第でございます。

優生學としての產兒制限

星野鐵男

一

編輯の方から難しい問題を頂いたのであるが、少し書いて見ることにしよう。

讀者の大多數は「產兒制限」といふことが、どんなことであるかを知つてゐるであらうか。私はまづ此の點を明にして置かなければならぬ。色々の人々によつて色々の意味に、產兒制限といふ言葉は用ひられてゐるから、まづ明瞭にその內容を申して置こう。

產兒制限といふ場合、これに墮胎をいれてはならぬ。姙娠の回數を少なくするといふ意味であるとしても、一度姙娠したものに手をつけるのは、產兒制限以外のことになる

昔から用ひられた言葉でいへば、避姙である。然し避姙といふ名の下に墮胎が多く行はれてゐたために、このよい言葉も、その響きを不純にして仕舞つた。

二

科學的な用語でいふならば「受胎防止」である。心理的にいへば、姙娠の遠慮である。

以上のやうな意味だと思つて貰ひたい。

次に、讀者の大多數は「優生學」といふ學問のあることを知つてゐるであらうか。

讀者諸君を低く評價する譯ではないが、大部分の人々は御存じあるまいと、私には思はれる。また御存じなくとも、それ程恥といふ譯ではない。「難かしい問題を頂いたので」と私が初めに申したのは、實はこゝのところを指してゐるのである。

だから本當のことをいへば、優生學といふものが、どんな學問であるかを玆に述べねばならぬのであるが、今はそれを略して、唯一言する丈にして置かう。

優生學といふ學問は、民族の素質が段々惡くなることを科學的に研究して、その原因と思はれることを除去し、民族素

質の劣性化を防ぐと共に、一方優性な素質あるものの子孫の減少を防ぐことによつて、民族の將來を明るくしようといふ學問なのである。

三

然らばどんなことが民族の素質を惡くするのであらうか。

精神病がわが國では年々增加するばかりであるが、この精神病は遺傳によつて出て來る病氣であるから、精神病者のますといふことは、民族の將來を暗くすることになるのである

花柳病の蔓延も中々盛んなものであつて、これによつて民族の素質は、非常に低下されるのである。度々流產したり、不姙症になつたり、麻痺性痴呆がましたりするのは、皆我々の將來にとつて困つたことなのである。

わが國のあらゆる社會層にその毒魔の手をのばして、數百萬人を病床に苦しめてゐる結核の如きも、確かに民族の素質を惡くするものである。結核の豫防事業といふことは、それ故に心あるものは凡て、熱心に研究し努力する筈である。

白痴低能兒といふものや、常習性犯罪者といふものは、遺傳によつてその恐るべき社會への重荷を加へて行くのであるから、民族の精神文化を傷け暗影を投げかけること、常人の考へ及ばざる程の困つたことなのである。これが一部の原因とも考へられてゐる飲酒といふことは、それ故に民族の將來を考へる程のものにとつては、愼重に研究すべき問題となるのである。

四

以上のやうなことは皆民族の將來を劣性化することであるから、どうかしてかゝる病的現象の起こらぬやうにせねばならぬのである。その具體的方法は一二に止まらぬであらうが、產兒制限法がその一つの有効方法なのである。

どんな白痴低能兒でも、その子孫を社會へのこしさへしなければ、社會の負擔はそれ丈ですむのである。かゝる精神低格者には、故に受胎を防止することが、優生學的見地より望まれるのである。

結核性素質のあるもの、或は既に結核を患ひ今回復してはゐるが、姙娠は願はしくないといふやうな場合には、かゝる婦人の受胎防止は願はしいことなのである。

健康な母から健康な子どもは生れるのであるから、母の健康といふことは、非常に大切なことである。母を健康に保つといふことは、やがて次の時代を健康にすることであるから母の健康を保證する爲に、產兒制限法を必要とする場合にはそれに優生學的意義をふすることが出來るのである。

母が病氣の場合に、受胎防止は當然要求されてよいのであるが、普通これさへも科學的には行はれてゐないのが、わが國の現狀である。醫師はただいふであらう。

「子どもを生まないようにするんですね」

どうしたら生まないようにすることが出來るか、これこれの方法をおとりなさいと明瞭に教へてはくれないのが普通である。

なぜであるか。わが國の醫學はまだ豫防的見地に立つて行はれてゐないからだと、私はいつて置こう。

科學的に受胎防止の出來るようにしてやつてこそ、母の健康はそれ丈保證される譯である。

五

母が病身でない場合でも、受胎防止の必要なことがある。この場合の産兒制限は狹い意味においての優生學的必要とはいへないであろうが、健康なる民族を將來するといふ廣い意味に於いては必要なのである。

どんな場合がそれにあたるか。

それは母の健康と既に生れてゐる子どもの健康とを絶えず考慮して、次の子どもの生れる時期を定めることをいふのである。例へば既に生れてゐる子どもが弱いとする、從つて母の骨折りは中々大變だとする、かゝる時に次の子が忽ち生れ出すと、母の重荷は一層重くなり、先の子の世話が充分に行かず、或は生れ出た方の世話が充分ならずといふので、誰かゞ犧牲となる場合が多いのである。それ故初めの子に手がかゝることがなくなつてから、次の子を生むようにすればよいので、その間は受胎の防止をすることにするのである。

もう一度ことはつて置こう、産兒制限といふと、すぐ子どもの數を減ずといふ樣にのみ解し易く、生むには生むが、生む人にも、生れて來る者にも都合のよいようになつてから、生むことにしてそれまで、受胎防止をする。即ち産兒制限法を行ふといふように解するものが少ないのであるから、重ねて玆にいつて置きたい。

産兒制限法を實施したから、子どもの數は必ず減ると思つてはいけない。それは減らすことが出來るといふ丈で、健全な子どもを相當數にもつ事も出來るのである。

優生學の立場から見ると、身體も精神も非常に健全で、かゝる人々の子孫が增すことが民族の將來にとつて望ましいとすれば、かゝる人には、相當數の子どもを生んで貰いたいのである。それだからとて、受胎防止法が不必要かといふと、そうではないのである。やはり、母の健康と子どもの健康とのため、一定期の間は生れて來ないようにする必要があるのである。

六

産兒制限といふことゝ、産兒制限法を用いるといふことゝの間には、區別があるといふことを、私ははつきりいつて置かう。私は受胎防止法を採用した。然し少なくも四人の子どもは得るつもりでゐた。受胎防止法を採用し乍らも、六人七人の子をもつことも出來るのである。

母性愛といふものは唯一人の子で滿足は出來ない、どんなに少なくも二人の子は必要だと私は考へてゐる。

制限するといふても、二人以下に制限してはならぬ。三人四人の子どもを、適當な間隔を置いてもつのが親の爲にも子の爲にも國の爲にも願はしいのであつて、制限する場合にはこゝまでは制限してもいゝといふ事を意味するのである。

多産といふことを感心する時代は過ぎ去つたのである。

多産に苦しむものに、科學的見地に立つて受胎防止法を敎へることは、國の義務と考へる時代になつてゐるのである。

七

私は與へられた範圍を越していふことはやめよう。

產兒制限法卽ち受胎防止法の採用といふことは、優生學の立場からみて、我が國にとつては非常に必要であるといふことを述べたのである。

受胎防止法採用の結果、人々の增加率が減少するか、人口が停滯すか減少するか、といふようなことに就いては、今は述べないが機會があらばまた述べるであろう。

讀者諸君はこの問題をいゝ加減に考へず、眞劍に考へて貰いたい。あなたの問題として、あなたの子どもの問題としてあなたの國の問題として、一囘丈でなく、幾度も幾度も、根氣よく考へ研究して貰いたいと私は願つて筆をおくことにしよう。(一九三〇、九、一)

消費組合講座【一】

消費組合の二傾向

編輯部編

消費組合といふと、何か物を安く賣るところだ位に考へられてゐるのが、世間一般の常識である。「いや決して安く賣るのが目的ではありません」と云ふと「そんなら用はない」と他所を向くのが、大がいの婦人の常とする所である。隨分物のわかつた婦人で消費組合の目的を充分理解してゐる人でも組合が時に市價から高いものを賣つたり、或は高くないまでも市價並みのものばかり賣つてゐると一向ありがたがらない許りでなく、時に大いに不服の顔をされる。これは矢張り本當に組合の役目をおわかりにならないからだと、先づ失禮なことを申上げて本論に入る。

◇消費組合の起り

今でこそ消費組合の目的や任務や、殊に其の階級的意義が相當嚴密に論じられるやうになつたが、もと〱消費組合は、理論や學說があつて其指示に基いて起されたものではない。其の先驅者は數人の職工であつて、所謂ロッチデールの先驅者と呼ばれる人達である。時はあたかも十九世紀の半頃、機械紡織が盛んになつて、全イギリスの職工達が失業、貧困のどん底に落ちこんでゐた時。二十八人の職工は結束して「生產、分配、教育、政治の力を整正して自主的なる新社會を建設する」と主張して此の仕事を初めたのである。これらの人々は社會理想の上でロバート・オーエンの感化を受けてゐたのは事實である。また其標傍したところにも頗る遠大な理想が現はれてゐるけれども、共出發點は、自分達の手近い生活問題の上で、自分達の協同の力によつて、共同の運命を開拓して行かうとするにあつた。

ロツチデール先驅者

二十八人の職工のとつた方法は、品物を仕入れて來て、普通の市價でそれを組合員に分配する。さうして其の利益（これは利益と言はずに剩餘と云ふべきものである）は、これを共同の資本として積み立て、色々の設備にしたり、仕入れの元金にしたり將來小さな工場までもつて自分達の必要なものは自分達の手で作らうと計畫した。また剩餘金の一部は各人の買入高に應じて配當し、また組合の仕事はお互ひに寄り合つて、報酬をもらはずに協力した。かうした幾つかの原則は別な時代に當て嵌めても正しい樣に思はれるがともかくも其結果は、非常な組合の發展を齎らして、現在ではイギリスの總戶數の三分の一を網羅し、一年の賣上二十五億、持分資本十億の多きに達し、イギリスの國家內の國家だと言はれるやうになつた。

◇イギリスの消費組合

しかしながらイギリスの組合はか程に發展しても、ロッチデールの人々が最初に期待したやうな自主的な新社會は認めない。勞働黨が内閣をとつても、勞働階級の暮し向きは急にはよく成らないやうに消費組合の此の隆盛も世界の王者としてのイギリス資本主義をビクともさせる力がない。そればかりではない。組合は暫く前から政治的中立といふことを標傍した。政治的中立は實質上の階級的中立——資本家でも勞働者でも都合のよい方につく——に變化し、無産者の自助的な運動としての色彩は段々薄らいで來てロッチデール先驅者の主張と反對の方向に向つてゐる。「イギリスに學べ」と主張され、消費組合のことゝなると何でも英國を持出す傾向があつた日本でもどうやら英國に學んではならないぞと云つたやうな空氣が現はれて來た。その頃一方でメキ〳〵盛んになつて來たのが、ソビエトロシヤの消費組合——協同組合運動である。

◇ロシアの消費組合

ロシヤでは、戰時共産主義と言つて革命直後の時代に、盛んに金持から收奪を行つたり、また農村の地主から穀物の徵發を行つたりしたが、其結果産業が頗る衰退して生産高が急に減じて來たのでこれでは切角の建設が成り立たないとして所謂新經濟政策を布いたのであるが、これは或る程度まで個人企業を許し、生産力を戰爭前までに引戻してから、改めて社會主義建設をしようとする。所謂一歩退却政策であつた。一方ロシヤでは私的企業や利潤經濟に反對しそれを押へつけるために協同組合運動を盛んにした。協同組合は新經濟政策時代を通じて、恐らくは最大の階級鬪爭の武器、社會主義建設の土臺石として其の役目を重要視されたものである。

◇消費組合主義

イギリス型の消費組合運動を追ふ傾向の人々は、消費組合と他の無産階級運動とを關聯させて考へることを好まない。消費組合に這入つてゐれば知らずしらずのうちに生活が裕になり、また階級鬪爭といふやうな恐ろしいことを回避して、寢て起きて見たら、急に太陽が輝き出したやうに、少しも荊の道を通らずして新しい社會が出來ると考へられてゐる。社會の趨勢がどうであらうが、資本主義の形がどんなであらうが餘りそれに囚はれる必要がない。何でも經營を第一にして、經營でさへ成功して行けば、新社會建設の運動になつて行く。資本主義の發展や社會の趨勢を研究するのも要するに經營に成功して利益を擧げるためだと云ふ。これは消費組合萬能主義であるところから普通「消費組合主義」と呼ばれてゐる。

◇階級的消費組合

一方之に反對する方面では消費組合運動は他の形の運動と同様、いろ〳〵な無産階級運動と聯絡し交叉することによつて初めて意義があると考へてゐる。こうして初めて無産階級の力は一丸となつて進むことが出來る。從つて消費組合も當然階級鬪爭の武器であり、資本主義に對して容赦のない戰を進めることが當然必要だと主張されてゐる。勞働爭議が起ると、それと協同して品物の原價配給をしたり、消費者として主張すべきことは政治的な領域でも當然主張して戰つて行く。これを一般に「階級的消費組合」と呼んでゐる。さて其の何れが日本の現實の上に正しい針路を與へてゐるか我々は之を研究しなければならない。

婦人運動ニュース

婦人公民權案
—愈々來議會提出—

安達內相は多年の懸案となつてゐた婦人公民權中、その第一歩として市町村に於ける婦人の公民權を認めて、是に選擧權と被選擧權を附與することに決定し、過般來內務省社會局に命じて關係法律案の改正に着手せしめつゝあつたが、この程漸く脫稿し去る五日發表した。

一、市町村公民權を男子と全然同一の條件をもつて婦人に附與すること
一、住居の制限は現行二年を一年に短縮すること
一、府縣會議員の選擧權被選擧權は從來通り男子に限り婦人には與へぬこと
一、選擧人名簿は男子公民と女子公民の別によつて調製すること
一、施行期日は次の總選擧からとすること

これが實施されゝば婦人も市長町村長助役、市參與等に選出される權利、市町村會議員の選擧、被選擧、公民としてあらゆる權利義務を持つわけである。然しこの市町村に限る制限公民權案に對しては全婦選團體、無產婦人團體が擧つて反對してゐることは云ふまでもない。

小兒保險制議會に提出

小兒保險制度の實施計劃に就ては、遞信省に於て準備中であつたが、最近その要綱略完成したので、これに伴ふ簡易生命保險法の改正法律案を近く閣議に上せて決定の上來議會に提出される筈である。

加入年齡——滿一歲——十二歲迄の者
保險金額——十二歲未滿の死亡に對しては滿二歲で四十圓、滿十一歲で二百圓
保險種類——生死混合保險、十五年滿期のものと、二十年滿期のものとの二種
保險料——月掛五十錢——一圓の二種

全國大衆黨でも 母子保護運動を

社會民衆婦人同盟は、母子扶助法の制定を要求して、大いに活動中であるが、先頃結成された全國大衆黨でも、同黨系の無產婦人同盟を動かして母子保護法要求の運動を起すことゝなり、目下準備中であるが同黨の方針は、社民婦人同盟が政府當路者に主として働きかけてゐるに對して農村に、工場に、大衆の中に働きかけ、大衆中から要求の聲を擧げさせるやう運動するものであると。

極東露領は全部女巡査

長春よりの特電によれば、極東露領各地では、去る八月一日より男子警察員を廢し全部女巡査を採用することに決し、既に實施されてゐると。右は元來巡査は罪人を縛るのが目的でなく、縛られるやうな罪人を造らぬやう、常に人民を保護し、指導するのが役目である。それには嚴しい男子よりも優しい婦人の方が適當であるとの見地による者ださうである。

コロンタイ女史榮轉

「赤い戀」「三代の戀」等で有名なソヴエート・ロシアの女流革命家、ノールウエー駐在露公使コロンタイ女史は今回スエーデン大使に榮轉した。

婦人も北極へ



【寫眞はエヌ・ビー・デンメ孃】

ソヴエート・ロシアの北極科學探檢隊は八月上旬碎氷船セドイ號でレニングラードを出發し、北極のナンセン島に向つた。一行十一名中には花恥しい婦人隊員が加つて居り、北極探險史上に一新紀元を劃する事となつた。婦人の名をエヌ・ビー・デンメ孃と云ひ地理學者で同時に電信の技師も出來る。

二科院展の女流新入選者

先日から開かれてゐる二科、院展の女流新入選者は左の通り

二科　森口靜枝、三上ふみ子、原夏江、正木通子、千葉富士子、八島喜代子、石田ヒロ子、荒井彩子、大門のぶ子、清水公子、松村綾子、高取榮枝、伊藤マチ子、關千鶴子、大橋文子

院展　瀧村簡子、片岡球子、山下日出子

勞働調査員に女工

十月十日を期して全國一齊に實施される勞働統計實地調査に關し三重縣津市では、調査される職工數は男女工三千七百六十三名で、一方正副調査員として工場監督者從業員中から七十八名が辭令を交付された中七名の女工が副調査員として任命されたがこの種の調査に女が加はつたのは始めてゞ女工に關する事は女工の方がよいとの考へからである。

東洋婦女賣買調査委員決定

―我が廢娼團體でも調査開始―

國際聯盟の婦女賣買東洋調査員の派遣に關しては、去る五日の聯盟理事會で決定せられたが、その後調査委員三名を選定中の所、米國人バスコン・ジョンソン博士を委員長とし、ピンドル氏（ポーランド人）サンドキスト夫人（スエーデン人）の二名の委員を任命した。一行は來年の五月頃日本へ視察に來ることに決定したが、右に對し我が廢娼團體、廓清會、婦人矯風會、廢娼聯盟等ではそれに先立つて我が國婦女賣買狀態の調査を開始したが、國際聯盟の調査委員が來朝の曉、彼等に日本の實狀を明らかに示すべきか否かについては、當局ではそれを國辱なりとして喜ばぬ傾向もあるが高島米峰氏などは斷然明示して廢止の機運を促進する方がいゝと云つて居り、まだ意見の一致を見ない。

ミス・チヤイナ

――纏足から天足へ――

引田哲一郎

世界で最も監禁されて來た支那女性の脚が、一躍して最も自由な身の上に解放された。美しい脚。纏足から解放されて廿年、自然に伸びたミス・チヤイナの脚。それは確かに二千年の舊禮敎を足蹴にして「三從四德」の桎梏から脱れ出た思ひ切り無作法に傍若無人に伸び切つた脚である。

彼女、深窓の佳人はすべてを自然の前に投げ出して今や赤裸々の原始人に還りつゝある。

楚々たる蓮歩とを纖細なる柳腰とかの美人の形容は、とつくの昔、抛げ棄てゝしまつた。今時うつかり、そんな形容詞でも使はふものならミス・チヤイナはそれこそ柳眉を逆立てゝ喰つてかゝるだらう。

× × ×

モダンの魁は何といつても蔣介石夫人宋美麗である。彼女は今若き支那の女性のシンボルとなつてゐる。國民革命の戰場に咲いた赤い花――その宋美麗夫人が赤い大きな薔薇の花を胸につけてプラツトフオームに立つてゐる後姿を見たものが、素的なダンサーがゐるぞと早合點したと言ふはなしも滿更うそとは思はれぬ。それは服裝があまりにもモダンでそれに穿いてゐた珠履といふのが二百五十ドルのとても見事なものであつた。若きジヨセフイン、蔣介石夫人ともあらうものが二百五十ドルの珠履を穿いてゐたからとて驚いてはいけない。支那のナポレオンは諸姉よ。非常な成金なんです。だから反蔣軍からは散々にやつつけられてゐます。幾度か呪の刄をつきつけられながらも素的に運の强い蔣はどうにか今日まで命運を持續してゐるが、すべてが支那においては――あらゆるブルジョア專制國において然るが如く――オール

マイチー・ゴールドなんだから。如何に銀暴落で支那經濟界の危機を傳へられやうとも、そこは大まかな支那のこと、萬事話が大ざつぱだ。戰禍に惱む民衆、わけても全人口の八十パーセントを占むる農民の苦悶を他所に國民政府主席蔣介石夫人のべらぼうな贅澤ぶりを見る時、蔣介石の命運もいよ〳〵最後に近づいたことが感知される。

× × ×

美しき脚、革命支那、女子スポーツの花形として滿都の人氣を集めた今年十六の少女。極東オリムピック大會に慧星のやうに現はれたスプリンター、明治神宮外苑に花と匂ふた彼女の姿。その名孫桂雲孃――支那の人見さん。記錄百メートル一三・八〇。五十メートル七・四。

足から解放された支那の女性は近來さかんにスポーツに活躍する。バスケットボール、ヴアレーボールは彼女たちの最も得意とするところ。その他の女流選手、劉靜貞、劉有慶、誠恩慈、吳梅仙――彼女達の肉體美と健康美とはだんぜん過去の支那を一蹴し去つた。そして今勇敢にスポーツ戰線に飛躍してゐる。

支那女性の健康美は更にかのガール・スカウトにも見ることが出來る。ユニフォームに團杖、その凛々しい扮裝はもう十年も前から見受ける。この頃南京に編成された女子軍は團杖の外に最新式の銃器を携帶し近代式の軍隊教練を施されてゐる。先般蔣介石はこの女子軍の檢閱をやつたが、體格といひ、操練といひなか〳〵見事なものであつた。これまたスポーツの女性と共に近代支那の有する尖端の一つであらう。

頭髮は？　むろん十人が十人まで斷髮だ。それもざんぎりのまゝでウエーブなどしない方がかへつてシイクで經濟的だと彼女たちは言ふ。全く油氣のない、無造作に結ばれた頭髮だ

× × ×

支那の女性は、長い間、脚のためにさいなまれてゐた四、五歲のむすめ達は堅く包まれた足のうずく痛みに哭いてむすめに生れたことを、母親と共に恨んだものである。「かあちゃん、お向ひのねえちゃんはなぜあんなに泣いてばかりゐるの、僕ちつとも泣かないや」「むすめに生れると、あゝして纒足しなければならない。お前だつておいたをするとむすめにしてしまひますよ」隣りのいたずら坊やはしきりとお向のむすめのために、心配してわけを聞いた。そして二人は纒足の頃からもう一緒にまゝごとをして遊ぶことを許されない。何故なら男女七歲にして席を同じうすることなかれであつたから。そういふ育ちに躾けられて來たむすめ達が、この頃、脚から

解放されたのだ。

「纒足から天足へ」禁止纒足、風俗改良といふ角ばつた文字が支那全國津々浦々に貼り出され、すべてのむすめ達は數千年にして脚を解放されたのだ。

その間彼女たち姉妹同志の（放足運動、纒足から自然足に歸る）の血のにじむやうな慘苦の歴史を知るものの甞涙なからんやである。

白布でしばられてゐた足が解放されてメリヤスまたは細絹の靴下はその足を包む極めて薄弱な道具となつた。風通しがよくつてうんと健康だ。そして皮膚の色もほんのり映り出て美しい。曾つては小さい足が美人の装飾であつたが、こんどはその靴下の色がハイカラの要素となつた。

クリーム色のストツキングに包まれたスマートな美しいミス・チヤイナの足には近來流石のミス・ニユーヨークでもミス・パリでもちよつと輕い嫉妬を起させるほどだ。

× × ×

元來支那の靴は、薄つぺらだといふよりかほとんど無に近いかゞとを有つてゐた。ひらべつたい靴の底は足全體を板のやうに平坦にして土踏まずを無視してゐる。然るにこの頃のむすめ達の靴はどし〳〵その高度を増して今では西洋女と同等なる踵を所持するやうになつた。

× × ×

政治的には不成功に終つた支那の國民革命も、社會的にはかなりの變革をもたらしてゐる。深閨の婦女が革命戰線に進出し、男女七歳にして席を同ふしなかつた婦女が男女共學制へ、相續權のなかつた婦女が相續權を獲得し、トルコ婦人の女判事に比すべき支那の女縣知事を見るに至つた。また貞女烈婦の旌表から離婚、再婚への流行へと進みつゝある。

× × ×

この頃上海の街頭「女でも男が買へる」といふモダン女性の戀愛尖端を知る人はまだ少からう。すべてが過渡期の支那だ。試練中とはいへ時代の旋風は花柳界をも風靡して到るところ斷髮藝妓の出現に守舊派は惱まされてゐる。とはいへ暗の女にもついに黎明は近づいたのかも知れない。

それよりも彼の北伐當時、男湯の占領裸體演説が行はれた。場所は上海南市の大東門、四月の午後二時といふ眞晝間、眞赤裸で街頭に躍り出で大道演説をやつた革命婦人「女の羞恥心を打破するのだ、舊禮教を打破するのだ」と群集に呼びかけたのだからたまらない。忽ち街上は人の山、彌次馬が飛び出す。警官が飛んで來る。それ

でも女は身内のものがあはてゝ持つて來た衣物を斥け、なほも羞恥心の打破を呼びつゞけてゐたが警官の威嚇によつてやつと衣物を着けながら「妾のこの肉體を五分間と白日の下に露すことが出來ないといふのは何といふ不自由な世界であらう、こんな不自由な世界は革命だ。さうだ革命だ」と絶叫した。これなどは少しく極端に失するが、從來壓迫が甚しかつたゞけに彼女たちの反撥力はとても强いんだ。この種の裸體行列は漢口でも行はれたはじめ數十人の豫定であつたが實際やつたのは數人に過ぎなかつたやうである。男湯の占領もやはり漢口の出來事である。支那では從來、男子のための共同風呂はあるが女子のはない、革命軍の婦人部ではそんな不公平なことはないと言つて度々女子公設浴場の設置を迫つたが容れられず、もうこの上は非常手段に訴へる外はないといふことになり、一日革命婦人の一隊は某將軍の夫人の指揮の下に喊聲をあげて公共浴場を襲撃し眞赤裸になつて一齊に男子の浴槽目がけて飛び込んだのだからたまらない。思ひもかけぬ裸形女軍の闖入に男の浴客たちはあわを喰つて逃げ失せ浴場は一瞬にして女軍の占領に歸したといふことである。

× × ×

ミス●チャイナ、彼女たちは何處へ行く、街頭へ進出した近代女性は今や擧つて職業婦人たらんと志してゐる。

タイピスト、アナウンサー、事務員、百貨店の賣子、女給、ダンサー、マネキン、バスガール。しかし乍らこれら職業婦人の活動範圍と志望者もまだ／＼歐米や日本に比べると話にならぬほど狹く且つ少い。が最近上海、南京に出現した女マニキユアは斷髮全勢の支那には大あたりの婦人職業として人氣を呼んでゐる。

× × ×

燒けつくやうな八月の陽光を浴びたアスファルト街上眞赭な塔影が映つてゐる。職業婦人のストッキングの上に、人造絹絲の肉色のストッキングの上に塵に塗れた職業婦人の靴先を見よ。この伸び／＼した脚を見よ。解放された近代支那女性の脚線こそ、力を、男性への反撥の力を呼びつゝあるものではないか。

新刊紹介

◇國際スパイ戰

早坂二郎譯
定價一圓二十錢
大衆公論社版

國內に於ける階級對抗はさま〴〵なるスパイの横行を逞しうせしめてゐるが國際關係に於ける帝國主義利害關係の軋轢、摩擦は、驚くべき國際スパイ戰を展開せしめてゐる。

本書はこの國際スパイ戰の只中にあるローワンが、世界に張られてゐるスパイ網とそれに活躍する文官、會社員記者、娼婦、ダンサー等の活動の實況業蹟を大膽に活寫し暴露したものである。一般讀者には極めて興味ある讀物で、同時にまた、何人にも知られない世界の暗黒面を充分に理解せしむる好著である。

◇文學革命の前哨

小宮山明敏著
定價一圓二十錢
大衆公論社版

此書は最近數年間に、發表された著者の論文の輯錄で、此の重要なる文學史上の轉機に當り、次ぎ〳〵に起伏する問題を捉え、著者の明確な階級的立場から批判し論斷したものである。

即ち、ブルジョア文學沒落の諸過程と、其の段階的表現たる新感覺派、新藝術派等の根據と內容とを究明し、一面我プロレタリヤ文學の發展過程の諸問題を取扱ひ剩すところなく、論議し盡してゐる。

此書は、其の形では論文集であるが其の實質に於いては、精到親切な現代文學史であり、現在の文學思潮を理解するために極めて重要な文献である。

◇インテリゲンチア

向坂・烏海譯
定價一圓五十錢
大衆公論社版

インテリゲンチアの位置と其使命に關してマルクス主義的見解から充分論じてゐるものである。其結論は大體に於いて、インテリゲンチアは、インテリゲンチア共物としては、社會的進歩の擔ひ手たることは出來ない。彼等は資本主義の進歩發展に貢献はしたが其發展は既に一定の限度にまで至り、既に其の變革者としてプロレタリヤが歴史の舞臺に現はれて來た。プロレタリヤは、最後に解放される階級であり、總ての特權を××するものである。從つて此階級の前にはインテリゲンチアも要するに智識的特權の擔ひ手であるに過ぎず、此の特權より解放されることに依つてのみ、新らしき進歩の推進力たり得るといふことである。著者はクラ、ツエトキン、ゲーチヤルマン、

本を讀め！

エル・シヤツキン、エヌブハリン、外にカウツキーのものをも添えてゐる。

◇アメリカの悲劇

田中純譯
定價一圓八十錢
大衆公論社版

アメリカ文壇の長老テオドル・ドライサーが十年間の努力を結晶せしめた大作で、此書一度出づるや、アメリカ全土に颶風の樣なさはぎが起り、敵も味方もともに最高の榮譽を送り、其の印税收入は實に四十萬弗に達したと云はれる小說である。一人の貧しき牧師の子が、ホテルのボーイとなり、クラブの使用人となり交錯する黃金と性慾の波のなかに、もまれ流されつゝ具さにアメリカ資本主義の全樣相を展開し其のからくりを具體的につかませやうとするものである。

此書は明確な意味でプロレタリヤ文學でないかも知れないが「アメリカの悲劇」の内容を階級的對抗關係から考察しようと試みた點に於いて、其の成果は寧ろ重要視さるべきものである。

◇マルクス主義のA B C

定價五拾錢
マルクス書房版

本書はイ・アゴルの「マルクス主義の基礎」（エフ・エンゲルス「反デユーリング」）を、茂野清治氏が、譯したものである。

ヴ・スが、「この本はマルクス主義團體、サヴエート及び黨の學校に非常にためになるものである」（プラウダ）と書いてゐるし、又、ゴーレフは、一九二三年の「出版物と革命」にエンゲルスの本の中から、總ての論爭的な、また餘りに難解な個所を除去して、「縮少されたものとして」出版することの大なる意義を認めなければならぬ。「マルクス主義の基礎」は、疑ひなく眞のエンゲルスを學生、勞農青年に接近せしめて大なる利益をもたらす。と大きな確信を持つてかいてゐる。

茂野氏の譯は幾分、急いだらしい形勢があつて、稍もすると平易を缺いた點もないではないが、その正確さに於て、同志のためには特に有用なものとなるであらう。

又、通俗的なマルクス主義文獻からより高級なものへ移る愛の橋として、斷然役立つであらう。

先月から書物のお取次をすることにしましたら早速方々から申込みがありました。今後も引つゞき毎月この欄で御紹介する新刊書のお取次をいたします。何卒どし〲御申込み下さい。代金に（送料はこちらで負擔致します）すべて前金でお願ひします。

職業婦人社事業部
振替東京六四一六〇

狂つてこそ

榎本八十子

雨が降らない！　全く此處五十日といふもの、一滴の雨にも見舞はれない地上は、たゞしろじろと萎たれた息を吐いてゐた。欲しいものは雨許りだ。憤ほろしく照りつけてゐる空でも、間さへあれば見上げずにはゐられない程の切なさだ。自分の口へ入れる一口の水さへ惜しんで、畑の作物にぶつかけてやり度い——それは誰しも同じ思ひだつた。

効能もない雨乞ひの馬鹿騒ぎも、三度とはする氣もない。雨は欲しいし、雨乞ひの價値は認めないといふジレンマに陷つてゐる治助は、今日もその寄合から腹立たし氣に戻つて來た。

そこへひよつくり、お鈴は又、何とした姿で轉がり込んで來たことか。

よれ〳〵になつたナフトル地の袷せを、細紐一つで絡みつけた背中へ、首も千切れさうにくたりと瘦せこけた赤坊をくゝりつけて。

その赤坊の頭から顏にかけて、汗もの寄りが蓋のやうにぶつぶつと腫れ上つて、じくじくと浮腫が光つてゐた。

片方爪皮の取れた足駄をがらがらと引きづつて、破れた番傘に小さな風呂敷包を下げた手には、七つ許りの男の子の手を摑んでゐた。

此の子も剝げた、白絣の筒袖に付け紐一本の吐捨てたやうな身態だ。此、異樣な母子の風態を見出した時、治助夫婦はさつと顏面を引きつらせて、思はず聲のない叫び合をしたのだつた。

「あにしに來たゞ」怒氣を含んだ父親の聲が、さつとお鈴の身に振りかけられた。

「あにしに來たでもなかつぺ、此態でよう」

母親の聲も上づつてゐる。お鈴は默念として立竦んでゐた十年振りでふた親の前に現はれたのだ。が、お鈴は何の感激も起らない表情で、口の中で何かつぶやいた。それが、兎缺をしつかりと手で押へてゐるから、赤く縮れた薄い髮の毛と正視を失つた白眼だけがほゝけて、母親の眼に映つただけだ

つた。母親は總べてをさとつた。

「にしや（おまへ）まあ餓じさうな面して」

しらしらと上眼を遣つてゐる孫の方に、母親の言葉が懸ると一緒に、お鈴は子供の手を強く引いて、ふら〳〵と土間に這入つて來た。

默つて母親が差し出した二つの茶椀に、こつてりと麥飯を盛りつけるとがちがちと食べ初めた。生姜の梅酢漬けと、遲蒔き胡瓜の鹽押しが、餓ゑ切つたお鈴の腹にくつくつと落ちこんでいつた。

父親はいつの間にか姿を消してゐた。落ちぶれた、殊には正氣を失つた娘の淺ましい格好を見るに堪へなくなつたのだろう。母親は困つた事が出來たと思つた。

「氣狂ひになつてるからつてなあ、暴れる譯じやなしよ、あゝしてぺそぺそ泣いたり、うた唄つたりしてるだもの」

「そいだつてあの飯の食ひ樣つたら、俺らの三倍もやらかすでねえか、今まで何食つて生きてゐただか」

「でもおとみよ、姉ちやんの苦勞だつて並大抵の事じやないんだぜ。兎缺、兎缺つて、三つの子にせえ馬鹿にされて、十三の時にや、川へはまつて死ぬてえ騷ぎだ。そんな事幾度あつたか知れねんだ。そいでも東京さ出て、女中したり、髮結ひの下梳きさやつたり、お母が見かけた時にや、夜店の荷車の後押しまでやつてゐたんだわ、そいで持つ亭主にや、じきに打ち捨れられるしな、だから今度だつて、きつと放つぽり出されたに違えねんだよ」

「お母、その話やもう幾度も聞くよ」

「それだつたら、そんなに文句云はずに世話してやれよ」

「うちだつて食うに困らなきやな」妹娘のおとみは不機嫌につぶやくのだつた。もともと、お鈴は治助の先妻の娘で、おとみとは腹異ひだ。おとみは二十の娘盛り、今にも婿養子せねばならない時だとて、彼女は極端にお鈴の出現を怖れたのだ。怖れるといふよりも憎んだ。

世智辛い東京の姿をそのまゝ田舍に持ち込んで、朝から晩まで萎びた赤坊をこねくつては泣いたりつぶやいたりしてゐるお鈴の醜い樣子を、露骨に嫌惡してゐるおとみの態度には流石のお鈴も心を痛めた。彼女はおどおどしてゐた。

炎熱はいつまでも放射しつゞけた。さくさくと何處まで掘り下げていつても乾いた土が盛り返されて來る。八月の太陽の呪はしさ。

陸稻は縒れて實が輕るい。瓜や菜つ葉は、賣るより優しだとて畑の肥料に叩きつける程の悲壯な諦めを、絕念めとして感じる人間には、まだしも息をつけるといふものだ。

お鈴が來てから、父親の燒酎の量が餘計になつた事も、おとみには不平だつた。

　馬鈴薯の植へ付けからおとみは汗になつて歸って來た。陽のかんかん照りつける緣側に、お鈴はぐたりとした赤坊を抱へて坐つてゐた。彈き返つた口元に泡を溜めて、體中がぶるぶると震へてゐた。

「姉ちやん、どうしたの？」

「坊やが、坊やがね」

「坊やが、どうしたの？　あーら」

　おとみはどきつとして、無意識に覗きこんだ顔を退いて息を詰めた。

「とみちやん、坊や死んだやうだね」

「死んだやうだつて！　姉ちやん、眞實に死んでるじやないか」おとみは嚙みつくやうに姉をみつめた。

「どうも今まで變だなと思つてたんだよ、碌に泣き聲も立てずにぴから、ぴからしてんだもの」「苦しがつた？」

「えゝ、昨夜つから乳も飲まないで。でもいいのよ、死んだ方がね」お鈴はにやつと笑つた。おとみは凄い顔だなと思つた。

「姉ちやんの亭主は一體どうしたのさ」

「……知らないや。ふん、柄にもなく仲間になつてね」

「仲間になつて？　何の仲間さ。工場に出てたつてじやないか、ちよぼ一の仲間にでもなつたんかい」

「違ふよ、その先知らないんだよ、知らなくつていゝつてんだもの」お鈴は強く首を振つた。全く何も知らない風だつたが、おとみは眞實に此の姉は狂つてるのかしらと思ふのだつた。

　母親とおとみは毎日日傭に出かけた。

　父親の治助は、肥汲みに東京へと朝早く手車引いて出ていつた。いつも出ていく度に、歸りの遲くなるのは、それとなく、お鈴の亭主の樣子を尋ねるからだつた。その事は、母親にも、おとみにも知らせ度くない事から、彼はいつも飲みつけ居酒屋で燒酎を引つかけて胡麻化してゐた。

　留守の家には、お鈴が七つの子を相手に襤褸布を弄つてゐる。それも氣分の向いた時だけで、やがてお鈴はふら〳〵と外を出歩るくやうになつた。

　兎缺やーい。乞食やーい。氣狂ひやーい！

　村の子供達は囃し立てた。そして誰言ふとなく、お鈴の亭主は牢屋へ打ち込まれてゐるのだといふ噂が立つた。治助一人が苦い顔をした。

　九月。雨はまだ降らなかつた。香々鉢の中でまで、蟋蟀が鳴き出した。

　お鈴を警戒しなければならない——そう思ひ乍らも、遂、貧と忙しなさに追ひ詰められてゐた治助一家の者は、或る朝とう〳〵お鈴の最後の姿を發見した。形許りの納屋の梁に細

々とした身が硬直してゐた。

治助の眼がついと光つた。

「姉ちゃんてば、又何だつて……」

「生れた我が家で死んだんだ。なあお父」

母親はしみじみとした溜息をついた。

おとみはそこに、ある絶望以上のものを感じた。

（一九三〇、九、九）

セツルメント日記

八月二十五日　産兒調節相談所開始についての座談會。(別項記事參照)

八月三十一日　少女手藝展覽會、兒童招待會。展覽會の主催は金澤靜子先生、七、八歳から十二三歳位の女の子に出來さうな美しい作品を二階の廣間一杯に陳列して下さる。習ひたいといふ希望者が多かつたら日曜毎に敎へに來ていたゞける筈。十時開場。

招待會開會は午後一時、そのプログラム一、開會　二、合唱(みなさん)　三、ごあいさつ(奥)　四、どうようおどり(きいちやん)　五、おはなし(平田)　六、しやうか(みなさんの中から)　七、どうようおどり(みなさんの中から)　八、よきやう(お伽百面相)　九、閉會。

この催しは、前から子供達に待ち構へられてゐて、掃除やら會場の裝飾やらに、小さいお手傳ひが大勢見えて、どれだけ私達の手がはぶけたことか。女の子たちは、知恵と色紙を持ちよつて、會場全體に子供らしいおもむきを添へてくれた。

日曜學校をやつてゐられるみろく寺の方達は、生徒さんを大勢連れて童謠や唱歌の應援をして下さつた。

小さいお客様の數はざつと三百人、みんなで注意したお蔭で、玄關のせまい割合に混雜の度も少く、幼い兒達も自分の下駄をひとりで見つける事が出來、全購聯からいたゞいた久美愛キャラメルを一つづゝおみやげにニコニコしながら全部ひき上げたのが午後四時。

九月二日　早くから子供達が大勢おしかけて、はいつていゝかと言ふ。招待會の歸りには、おさらひを見てあげるといふビラをやつてある筈なのに、勉强しさうな恰好をした子は一人もゐない。大抵幼い弟妹と一諸だ。どうしたらいゝかと、若い者同志途方にくれる。

「入れておやりよ、この邊の子達が、何を一番求めてゐるかと言つたら、溫い人の情なんだから。どこへ行つたつて追つぱらはれてばかりゐる子が多いんだからね。こゝであの子達を遊ばせてやるだけで、充分意義があると思ふよ。先づあの子達と同じにまで自分を引き下げて、それからだん〳〵引きあげるのでなかつたら、決して何も出來つこないよ」

平田さんの意見に一同納得して、いゝと言つたら、ドヤ〳〵となだれ込んで來た。すばらしい速さだ。大人の入り込む餘地のない程猛烈な騷ぎ方だ。「お話して上げようか」と言つたら、女の子は悲しい話をきかせろと言ふ。男の子は荒木又右衛門の話が聞きたいと言ふ。あひにくどちらも持ち合せがない。こちらの話をおとなしく聞いてゐるのはほんの五六人、あとは柔道だ、鬼ごつこだ。黒板にいたづら書きだ。

よろしい。しばらくの間、こゝをたゞあなた達の自由な遊び間として提供しよう。ちらかつたらはかうよ。慣れてはゐないけれど、ウンコの始末もやりませうよ。

だが、何時までも遊び場所であるだけでは仕方がない。子供達に讀めさうな、古い書物でもなんでもいゝ、ドッサリ集めた圖書室がほしいなとつく〳〵思ふ。

九月六日　主婦の會。未だかうした會合に慣れてゐないこの地方の主婦達だけを、大勢集めたいなんて、なか〳〵無理な願ひであるらしい。でも、よく集つた。然し子供も隨分多い。これには私達も參つてゐますとは、富川町市民館長のお話。

今日のプログラムは

一、開會(午後六時)　二、挨拶(奥)　三、お話(小島)　四、お話――私達の計劃(廣瀬)　五、活動寫眞　六、餘興(落語)　七、閉會。

姙娠調節について話して下さる筈だつた野尻ドクトルが御都合で、とう〳〵見えなかつたのは殘念だつたけれど、姙娠調節が何故必要かは、奥氏の御挨拶や、廣瀬氏の計劃についての說明で大體飲み込めたであらうと思ふ。內職をやりたい人達は協同して內職組合を作り、みんなで仕事を探して手間賃は平等に分配しませう。家庭經濟のためには消費組合にはいつて、そこから品物を買ふやうに、病氣の時の備へには共同の積み立て金もやれる樣になりませう。子供さんの健康が思はしくなかつたら、こゝの健康相談所を役立てゝ下さい。とにかくこの邊一帶の主婦達によつて組織される、一つの大きな組合が出來上るように、出來るだけお役に立ちませうといふ、私達の主旨が、懇切を極めた、廣瀬氏の說明を通して、どの程度まで受け入れられたか、私達はそれを、將來に見なくてはならない。

九月十一日　櫻楓會託兒所主任の丸山氏來訪、託兒所開始について色々な助言を與へて下さる。奥、中島兩氏がお供して、心當り數ヶ所に御挨拶にうかゞつた所、木田木工所ではブランコとスベリ臺を寄附して下さることになつたし、靈岸小學校の引越した後の、椅子は五厘で、机は二錢で拂ひ下げてやらうといふ事に、話がまとまつたとの事、吉報に皆々喜ぶ。

この邊の事情から推して、託兒所の經營もなか〳〵樂でないらしいから、後援會はどうしても必要だらうといふことになり、會員募集には、主任の中島氏が大童の活動をつゞけて下さる筈、どうぞ澤山の支持者がほしいと祈られる。(西野記)

巻末に

印刷屋其他の都合で、八月號の發行が非常におくれてしまつたので、やむを得ず八、九月合併號を出しました。所が又々私どもの不注意から部數が不足して、是非お送りせねばならぬ方々にもお送り出來ず、大變恐縮に存じます。

こゝに心からお詫びいたします。

○

右のやうな事情から一度お送りしたものを、御返送下さるやうにお願ひしたのでしたが、殆んど全部の方が快く承知して下すつたので、一冊の「婦人運動」は二冊分の働きをすることが出來ました。ほんとにありがたうございます

○

涼しくなつて働くにも、勉強するにも大變樂になりました。本をよみたい、一週に一度は研究會をもちたい、講演會にも出席したい。「婦人運動」をもつと〳〵立派にしたいとそればかり念じてゐます

それにつけても我々の「婦人運動」を一人でも多くの方に讀んで頂きたいと思ひます

先日からお友達を御紹介下すつた方々に厚く御禮申上ます。どうぞお親しい方々に是非「婦人運動」をすゝめて下さい。

○

誌面の都合で今度は「讀者のページ」をとることが出來ませんでした。來月號から必ず讀者欄を設けたいと思ひますから、感想を、批評を、詩や歌をどし〳〵送つて下さいませ。

讀者をふやして下さい

廣告力をもたないうちの雜誌のやうなものは、內容がどんなによくても、今の資本主義社會では店頭の商品にならない。

だから讀者から讀者へ！

みなさんのお助力に依つて直接にすゝめて下さつて、讀者として協力者をふやすより外ないのです。

新しい仲間よ、殖えよ。

讀者をふやして下さい

十月一日から託兒所が始まります。その他の仕事も追々はじめるつもりでゐます。おひまの時に、又は近所までおいでの折にはどうぞお立寄り下すつて私たちの仕事をみて下さい。そして出來る範圍でお手傳ひもして下さい。皆で心からお待ちしてゐます。

（大石）

昭和五年九月二十五日納本
昭和五年十月　一日發行

◇誌代はすべて前納にして下さい

誌代
壹部　貳拾錢（郵稅一錢）
半年分　壹圓二十錢
壹年分　貳圓二十錢

編輯發行兼印刷人　奥梅尾
東京市本所區林町二ノ七八
職業婦人社
振替東京六四一六〇番

産兒制限と器具に就て……

勞働診療所長
東京市會議員 ドクトル 馬島僴氏談

婦人用の避姙用具は、實に多種多樣であるが、嚴密な醫學上の立場から見て、その多くは其効果の疑はしいものである。たゞイギリスで專ら用ひられて居る子宮キヤツプと、オランダでひろく認められて居る膣內閉塞器（ペッサリー）の二種は、現今醫學が敎へる範圍での最も理想に近いものと云へる。

しかし私の經驗で、イギリス型は一々醫師が取扱はないと屢々失敗の虞れがある。これに反してオランダ型は、婦人が自ら極めて簡單に用ひられて、未だ失敗の例も見出さない。私は主としてオランダ型を採用して來た。

だが輸入品は、とかく高價なので、日本に於てよきオランダ型のものを製作し度いと考へ、小柳ゴム製作所に依頼して特に私の長い間の經驗から得た考案を注意深く加へて製作したのが即ち今回發賣される本品である。

滿足なるこの製品を得るまでには可なりの長い時日を費した。醫師としての責任上私はたとへどんな小さな缺點でも容認する事は出來なかつた。私は樣々な製作過程によつて製作された試作品を數十回に亙つて一々嚴密な實驗をして見ねばならなかつた。此の間小柳氏の驚く可き熱心さとうむ事なき努力とは、私のうるさい註文や注意を一々充分に研究し工夫し次から次と新しい試作品を提供してくれた。か樣にして遂に今日發賣される物の樣な極めて滿足な製品に到達したのであつた。

ゴムの性質は勿論、ワクの太さ、彈力の具合、その取り付け方など主要部分の出來上りは外國品に優るとも斷じて劣るものでない事は、私が證明し得る。敢て私から一般大衆におすゝめする次第である。



（馬島氏ダッチペッサリー）

馬島式ダッチペッサリーの臨床效果

愛兒女性協會 女醫 尾崎豐子氏談

專門的に、毎日澤山の御婦人達の避姙に關する御相談を受けてゐますが、日本婦人が、在來の習慣的又は風習的な道德觀から、失禮ではございますが性問題に對してあまりにも隱蔽的であり無智であります爲、とんだ操作によつて恐ろしい危險を招かれた方が隨分多い樣でございます。

で私は、「誰もが手輕に何等の危險なく、完全に目的を達し得られる物」として誰方にも先づ馬島氏「ダッチペッサリー」をお勸めします。生理的にも心理的にも寔に申分がなくて、今日迄まだ一度も、不都合や不滿足や失敗やのお小言を受けた事がありません。

外國品に優る小柳製の改良型が出來ましたから、日本人にピッタリと合ふ理想品がお安く手に入る樣になりまして大變喜んでをります。

豫約出版

幸德全集

◇苟も幸德秋水の文章にして生前既に一册の著書となつて出版されたものを除くの外は一言半句も之れを餘すことなく左記六卷に之れを全集した

一、幸德奇文編
二、幸德想文編
三、幸德藝文編
四、幸德論文編
五、幸德翰文編
六、幸德珍文編

◇全卷十册各卷二百五十頁
◇一册五十錢毎月一册發行
◇四月末締切實物見本既刊
◇入會自由加入金一切不要
◇申込最寄書店大取次本社

本月號

解放社月刊

目次

解放群書	100	守田有秋 ドイツ社會運動史
解放全集	50	(1) 失業問題全集 第一卷理論編 (2) 幸德秋水全集 第三卷文藝編
學藝解放	50	獨逸諸國革命運動史號
勞農學藝	40	新興階級雄辯術號
解放科學	30	伊太利社會運動史號
解放パンフ	20	幸德秋水解放論文選集號
變態解放	15	變態的メーデー號
大衆解放	30	飛躍メーデー闘爭號
婦人戰線	20	婦人戰鬪小說創作號
勞農運動	15	既成政黨暴露資料號

東京芝區新櫻田十九 ・解放社・ 振替東京三六九四四

社會運動史全集

◇英、米、獨、佛、露、南歐、中歐、小國、殖民地、日、支、インタアナショナル等に分け適材適國、一人一國、一國一册、一册一圓（廉價版半圓）毎月一回、の豫定で發行する。既刊既に數國に達す。

教育週報社長 爲藤五郎先生著

△四六判箱入 △三百餘頁

△定價二圓五十錢 △送料十六錢

(最新刊)

現代農村の教育

一、惱める現代農村指導者への光明
二、實例引用農村新教育方法懇切
三、擧村一致教育村の教育眞髄詳解

現代農村は行詰り青年男女其の方途に惱む本書は之が新指針書として最良。飜譯まがひの空論に非ず、專ら實例を以て農村に於ける最良の教育を詳說。國定教科書のモデル福岡縣神興村を親しく縱橫より視て其の眞相を披瀝し盡さる。

目次の一班

一、農村教育の一典型
二、貧弱なるこの山村
三、神興小學校を觀る
四、村の先覺者と語る
五、淚汗十年、經營の跡
六、小學校經營の實際
七、公民學校經營の實際
八、小學校經營の指標
九、公民學校經營の指標
十、細胞組織の社會教育
十一、村を背負つて起つ青年
十二、產業組合の充實、活動
十三、愛の權化安部訓導
十四、いかにして教育農村へ

—小目次の一例—

一、侵入者なき平和
二、資本主義經濟の稀薄
三、地理的の天惠
四、惠まれたる一村一校
五、傑出人物なき惠み
六、愛の教育の徹底
七、學校の家庭化、家庭の學校化
八、學校中心主義の文化
九、學校教育と社會教育との融合
十、鄉土愛、勤勞の教育
十一、凡人主義の教育
十二、自學自習の教育
十三、教育の實際化、生活化

東京市神田區錦町三丁目九 東洋圖書株式合資會社發行 振替東京一〇三七番

大正十三年十一月二十一日　第三種郵便物認可
昭和五年九月二十五日　印刷納本
昭和五年十月一日發行（毎月一回・一日發行）
婦人運動　第八卷　第八號
定價二十錢

